

レンズ交換式デジタルカメラ

α6500

Eマウント

取扱説明書



ヘルプガイド(Web取扱説明書)

Web上のマニュアル「ヘルプガイド」も
ご覧ください。パソコンやスマートフォン
でご覧いただけます。

<http://rd1.sony.net/help/ilc/1640/ja/>

警告 安全のために

→ 118 ~ 121ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

- ➔
- ① 電源を切る
 - ② 電池をはずす
 - ③ 相談窓口につながる

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含まれます。

ヘルプガイドを 活用しましょう！



ヘルプガイドは、パソコンやスマートフォンでご覧いただける、Web上のマニュアルです。メニューの詳細や応用的な使いかた、最新情報などを説明しています。



ここから
アクセス

<http://rd1.sony.net/help/ilc/1640/ja/>

ILCE-6500 ヘルプガイド



取扱説明書(本書)



基本的な操作を説明しています。

本機をすぐに使ってみたい方は、「スタートガイド」(26ページ)をご覧ください。初めてのシャッターを切るまでに必要な準備を説明しています。

カメラ内ガイド



MENU(メニュー)の説明をカメラの画面に表示する機能です。

撮影中でもサッと調べられて便利です。

この機能を使うには、あらかじめ設定が必要です。設定方法は、ヘルプガイドにアクセスして「カメラ内ガイド」を検索してみてください。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

| | |
|------------------------|---|
| 安全のために..... | 2 |
| ヘルプガイドを活用しましょう！..... | 3 |
| お使いになる前に必ずお読みください..... | 8 |

撮影の準備

| | |
|-------------------------------------|----|
| 本体と付属品を確認する..... | 13 |
| 各部の名称..... | 14 |
| 基本的な操作..... | 20 |
| コントロールホイールの使いかた..... | 20 |
| Fn (ファンクション) ボタンの使いかた..... | 21 |
| AF/MF/AEL 切替レバーの使いかた..... | 22 |
| 画面表示を変える..... | 23 |
| 画面表示を切り換える (撮影/再生)..... | 23 |
| スタートガイド..... | 26 |
| ステップ1: バッテリーとメモリーカードを入れる..... | 26 |
| ステップ2: バッテリーをカメラに 入れたまま充電する..... | 28 |
| ステップ3: レンズを取り付ける..... | 29 |
| ステップ4: 電源を入れて日付と時刻を設定する..... | 30 |
| ステップ5: オートモードで撮影する..... | 32 |

| | |
|---|----|
| 静止画を撮影する | 33 |
| フォーカス(ピント)を合わせる | 35 |
| フォーカスモード | 35 |
| オートフォーカス | 37 |
| フォーカスエリア | 37 |
| ドライブ機能を使う(連写/セルフタイマー) | 41 |
| 連続撮影 | 42 |
| セルフタイマー | 43 |
| タッチ機能を使う | 45 |
| タッチ操作 | 45 |
| タッチフォーカス | 45 |
| 静止画の画像サイズ/画質を選ぶ | 48 |
|  画像サイズ | 48 |
|  画質 | 48 |
| 撮影モードを変える | 50 |
| モードダイヤルの機能一覧 | 50 |
| オートモードを切り替える(オートモード) | 51 |
| オート撮影の特徴 | 51 |
| P プログラムオート | 52 |
| A 絞り優先 | 53 |
| S シャッタースピード優先 | 53 |
| M マニュアル露出 | 54 |
| M バルブ撮影 | 55 |
| 露出補正 | 57 |
| ISO感度を選ぶ | 58 |
| ズームする | 60 |
| ズーム設定 | 60 |
| ズーム倍率について | 60 |
| ホワイトバランス | 61 |
| 手ブレを補正する | 63 |
| 手ブレ補正設定 | 63 |
| フラッシュを使う | 65 |
| フラッシュモード | 66 |

動画撮影

| | |
|-----------------------------|----|
| 動画を撮影する | 67 |
| 動画の記録フォーマットについて | 69 |
| $\square\square$ 記録方式 | 70 |

再生

| | |
|------------------------|----|
| 画像を見る | 72 |
| 静止画を再生する | 72 |
| 動画を再生する | 72 |
| 一覧表示で再生する (一覧表示) | 74 |
| 画像を削除する | 75 |
| 表示中の画像を削除する | 75 |

カメラのカスタマイズ

| | |
|---------------------------------|----|
| よく使う設定を登録する | 76 |
| 📷1/📷2の登録 | 76 |
| ボタンにお好みの機能を割り当てる | 77 |
| カスタムキー (撮影) / カスタムキー (再生) | 77 |
| ファンクションメニュー設定 | 78 |

ワイヤレス機能を使う

| | |
|-------------------------------------|----|
| Wi-Fi/NFCワンタッチ/Bluetooth機能を使う | 79 |
| PlayMemories Mobileについて | 79 |
| 画像に位置情報を記録する | 79 |

ソフトウェア/アプリケーション

| | |
|---|----|
| パソコン用ソフトウェア/PlayMemories Camera Appsの紹介 | 80 |
| PlayMemories Home | 80 |
| Image Data Converter | 81 |
| Remote Camera Control | 81 |
| PlayMemories Camera Apps | 81 |

MENU一覧／画面表示一覧

| | |
|------------------------|----|
| MENUの使いかた | 82 |
| MENU一覧 | 83 |
| 📷1 (撮影設定1) | 83 |
| 📷2 (撮影設定2) | 88 |
| 📶 (ワイヤレス) | 91 |
| 📱 (アプリケーション) | 92 |
| ▶ (再生) | 92 |
| 🔧 (セットアップ) | 93 |
| モニターに表示されるアイコン一覧 | 96 |

困ったときは

| | |
|----------------|-----|
| 困ったときのこと | 101 |
|----------------|-----|

本機について／使用上のご注意

| | |
|-------------------------|-----|
| 保証書とアフターサービス | 106 |
| 主な仕様 | 107 |
| バッテリーの使用時間と撮影可能枚数 | 107 |
| 使用できるメモリーカード | 108 |
| 静止画の記録可能枚数 | 109 |
| 動画の記録可能時間 | 110 |
| 主な仕様 | 113 |
| 安全のために | 118 |

| | |
|----------|-----|
| 索引 | 122 |
|----------|-----|

Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能の詳細については、別紙の「Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド」またはヘルプガイド(3ページ)をご覧ください。

お使いになる前に必ずお読みください

ヘルプガイド(3ページ)の「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

撮影・再生に際してのご注意

- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

本機の取り扱いについてのご注意

- 本機は防じん、防滴性に配慮して設計されていますが、防水性能は備えていません。
- 本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。付属品やメモリーカードなどを飲みこむ恐れがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。

モニターおよびファインダー、レンズ、イメージセンサーについてのご注意

- モニターやファインダーは、有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が見れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- モニターを持って本機を持ち運ばないでください。
- 電動ズーム使用時に物や指を引き込まれないように注意してください。
- レンズやファインダーを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙、火災、ボディやレンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。
- 逆光での撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。太陽光がカメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。また、太陽を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがあります。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因になります。

- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。
- 撮影する前に確認する画像は、実際の撮影結果と異なることがあります。

レンズとアクセサリについてのご注意

本機には、カメラの特性に適合するように設計されたソニー製レンズ/アクセサリのご使用をおすすめします。他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故、故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

マルチインターフェースシューについてのご注意

- フラッシュなどのアクセサリを本機のマルチインターフェースシューに取り付け/取りはずしする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、本機にしっかり固定されていることを確認してください。
- マルチインターフェースシューに、250V以上の電圧がかかる市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。故障の原因になります。

ファインダーでの撮影について

- ファインダーの周辺部分の画像が少し歪んで見える場合がありますが、故障ではありません。構図の隅々まで確認して撮影したいときは、モニターも使用してください。
- ファインダーをのぞきながらパンしたり、視線を上下左右に動かすと、ファインダーの画像が歪んだり、色合いが変わって見える場合があります。これはレンズや表示デバイスの特性によるもので、故障ではありません。なるべくファインダーの中央付近を見るようにして撮影してください。
- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出る可能性があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。不快な症状が出たときは、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

連続撮影時のご注意

連続撮影時、モニターまたはファインダーに撮影画面と黒い画面がすばやく交互に表示されることがあります。このとき、モニターやファインダーを見続けることにより、体調不良などの不快な症状が出る可能性があります。不快な症状が出たときは、本機の使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

長時間撮影および4K動画撮影についてのご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。十分に温度が下がらない状態で電源を入ると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機の表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。
 - 気温の高い環境でご使用になる場合
 - 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
 - 自動電源OFF温度を[高]に設定してご使用になる場合
- 特に4K動画撮影では低温環境下において撮影時間が短くなる場合があります。バッテリーを温めるか新しいバッテリーをお使いください。

他機での動画再生に際してのご注意

本機で記録した動画は本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また他機で記録した動画は本機で再生できない場合があります。

著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書中のデータについて

性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温(25°C)下でのものです。バッテリーについては、充電ランプ消灯まで充電した状態のバッテリーを使用したときのものです。

無線に関連する機能(Wi-Fiなど)を一時的に無効にする

無線に関する機能は、[飛行機モード]で一時的に無効にできます。

認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができません。

MENU →  (セットアップ) →

[認証マーク表示]を選択してください。

本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS2/OF2/XX8

2.4 : 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX : 変調方式が DS-SS/OFDM/その他の方式、であることを示します。

2 : 想定される与干渉距離が20 m以下であることを示します。

8 : 想定される与干渉距離が80 m以下であることを示します。

■■■■■■■■■■ : 2400 MHz ~

2483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLAN ではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国、または地域の電波関連規制等に違反する恐れがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

ACアダプター /チャージャーについて

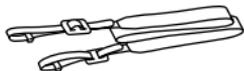
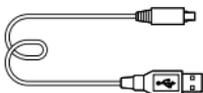
ACアダプター /チャージャーは、お手近
なコンセントをお使いください。不具
合が生じたときはすぐにコンセントか
らプラグを抜き、電源を遮断してくだ
さい。充電ランプがある機種は、ランプが
消えても電源からは遮断されません。

本体と付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店
にご相談ください。

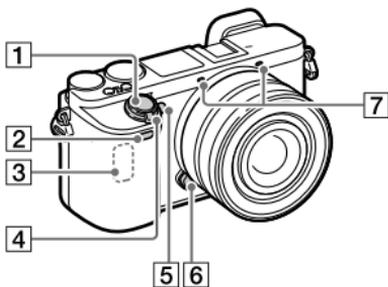
()内の数字は個数です。

- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリー
パックNP-FW50 (1)
- マイクロUSBケーブル (1)
- ACアダプター (1)
- ショルダーストラップ (1)
- アイピースカップ (1)
- ボディキャップ (1)
(本機に装着)
- シューキャップ (1)
(本機に装着)
- 取扱説明書(本書) (1)
- 保証書 (1)
- Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガ
イド (1)



各部の名称

()内の数字は参照ページです。



7 内蔵マイク*

8 マウント

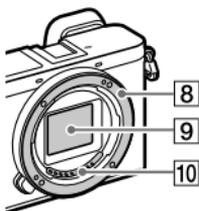
9 イメージセンサー**

10 レンズ信号接点**

* 動画撮影時はふさがらないでください。
ノイズや音量低下の原因になります。

** 直接手で触れないでください。

レンズ取りはずし時



1 シャッターボタン(33)

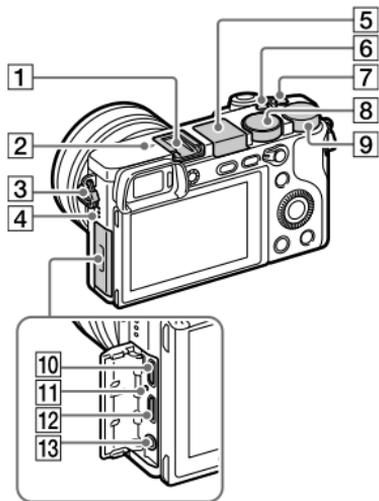
2 リモコン受光部

3 Wi-Fiアンテナ(内蔵)

4 ON/OFF (電源)スイッチ
(30)

5 セルフタイマーランプ
(43) /AF補助光(84)

6 レンズ取りはずしボタン
(30)

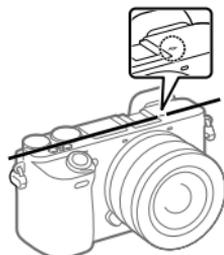


① マルチインターフェースシュー*

一部のアクセサリーでは接続時にマルチインターフェースシュー後方からはみ出る場合がありますが、先端まで入っていれば取り付けできています。

② ㊦イメージセンサー位置表示

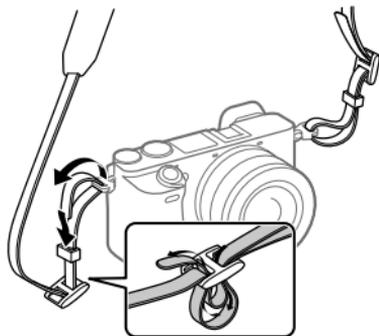
イメージセンサーとは、光を電気信号に変えるためのセンサーです。㊦マークがイメージセンサー面の位置を表しています。被写体までの距離を正確に測るには、この線の位置を参考にしてください。レンズ取り付け面からイメージセンサー面までは約18mmです。



レンズの最短撮影距離よりも近いものにはピントが合いません。撮りたいものに近づきすぎているか、確認してください。

③ ショルダーストラップ取り付け部

ストラップの両方の先端をそれぞれ取り付けます。



④ スピーカー

⑤ フラッシュ (65)

- 発光させるには、 (フラッシュポップアップ) ボタンを押してください。フラッシュ発光部は自動でポップアップしません。
- フラッシュを使わないときは、手で押して元に戻してください。

⑥ C2ボタン(カスタムボタン2)
(77)

⑦ C1ボタン(カスタムボタン1)
(77)

⑧ モードダイヤル(50)

AUTO (オートモード) /

P (プログラムオート) /

A (絞り優先) /

S (シャッタースピード優先) /

M (マニュアル露出) /

1/2 (登録呼び出し) /

📺 (動画/スロー&クイックモーション) /

📷 (スイングパノラマ) /

SCN (シーンセレクション)

⑨ コントロールダイヤル

撮影モードごとに必要な設定を
即座に変更できます。

⑩ マルチ/マイクロUSB端子*

この端子にはマイクロUSB規格
に対応した機器をつなぐことが
できます。

⑪ 充電ランプ(28)

⑫ HDMIマイクロ端子

⑬ **🎤** (マイク)端子

外部マイクを接続すると自動的に
内蔵マイクから外部マイクに
切り替わります。プラグインパ
ワー対応の外部マイクを使うと、
マイクの電源は本機から供給さ
れます。

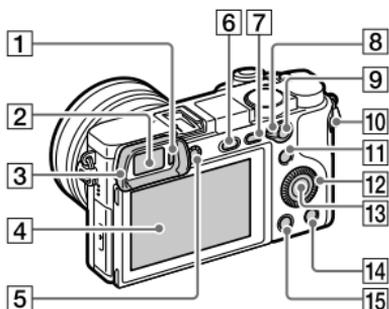
* マルチインターフェースシュー、
マルチ/マイクロUSB端子対応アクセサ
リーについて詳しくは、専用サポートサ
イトでご確認ください。

[http://www.sony.jp/support/
ichigan/connect/](http://www.sony.jp/support/ichigan/connect/)

アクセサリースュー対応のアクセサリ
ーも使用できます。他社のアクセサリ
ーを取り付けた場合の動作は保証でき
ません。

ni Multi
Interface Shoe

Accessory Shoe



① アイセンサー

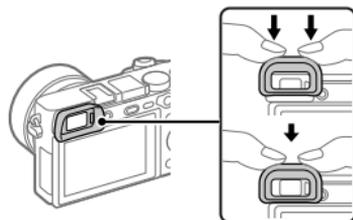
② ファインダー

③ アイピースカップ

出荷時は本機に装着されていま
せん。ファインダーで撮影する
ときは、アイピースカップを取り
付けることをおすすめします。

取り付けかた/はずしかた

ファインダーの溝に合わせて、アイピースカップをスライドさせます。

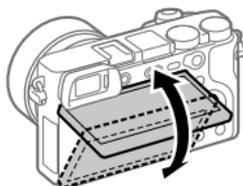


はずすときは、左右を持って引き上げます。

- マルチインターフェースシューに別売りアクセサリーを取り付けるときは、アイピースカップをはずしてください。

**4 モニター
(タッチ操作時：タッチパネル/タッチパッド)**

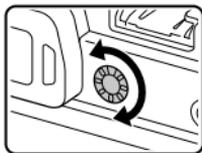
モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



取り付ける三脚によってはモニターの角度が調整できなくなる場合があります。その場合、一度三脚ネジを緩めてからモニターの角度を調整してください。

5 視度調整ダイヤル

ファインダー内の画像表示がはっきり見えるように、ご自身の視力に合わせて調整してください。視度調整ダイヤルが回しにくいときは、アイピースカップをはずしてから操作してください。



6  (フラッシュポップアップ) ボタン (65)

7 MENU (メニュー) ボタン (82)

8 AF/MF/AEL 切換レバー (22)

9 撮影時: AF/MF ボタン/AEL ボタン (22)

再生時:  (拡大) ボタン

10 MOVIE (動画) ボタン (67)

11 撮影時: Fn (ファンクション) ボタン (21、78)

再生時:  (スマートフォン転送) ボタン

このボタンを押すとスマートフォン転送画面になります。

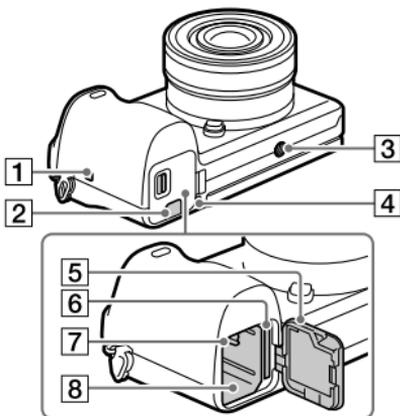
12 コントロールホイール (20)

13 中央ボタン (20)

14 撮影時: C3 ボタン (カスタムボタン3) (77)

再生時:  (削除) ボタン (75)

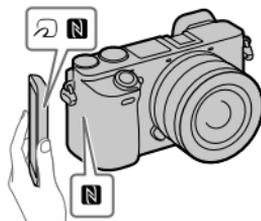
15  (再生) ボタン (72)



1 (Nマーク)

NFC機能搭載のスマートフォンと本機を接続するときにタッチします。

一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。



- NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

② 接続プレートカバー

ACアダプター AC-PW20 (別売)を使うときに使います。バッテリー挿入口に接続プレートを入れ、図のように接続プレートカバーからコードを出します。



カバーを閉じるときは、コードを挟まないように気をつけてください。

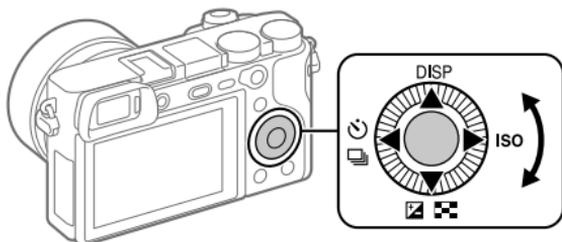
③ 三脚用ネジ穴

三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使います。ネジの長さが5.5mm以上の場合、本機を三脚にしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

④ アクセスランプ(27)**⑤ バッテリー / メモリーカードカバー (26)****⑥ メモリーカード挿入口 (26)****⑦ バッテリーロックレバー (26)****⑧ バッテリー挿入口(26)**

基本的な操作

コントロールホイールの使いかた



- コントロールホイールを回したり上下左右を押したりすると、選択枠を動かすことができます。選んだ項目はコントロールホイールの中央を押すと決定されます。
- お買い上げ時は、上/下/左/右や中央に下記の機能が割り当てられています。
 - 上：画面表示切換 (DISP)
 - 下：露出補正/一覧表示 (☑/☒)
 - 左：ドライブモード (☀/📷)
 - 右：ISO感度 (ISO)
 - 中央：瞳AFまた、コントロールホイールの下/左/右および中央にはお好みの機能を割り当てることができます。
- 再生時にコントロールホイールの左/右を押す、またはコントロールホイールを回すことで再生画面を送ることができます。

Fn (ファンクション)ボタンの使いかた

撮影時にFn (ファンクション)ボタンを押して、あらかじめ登録したよく使う機能呼び出すことができます。呼び出す機能は12個まで登録できます。

1 DISPボタンを押して

[ファインダー撮影用]画面以外にして、Fn (ファンクション)ボタンを押す。

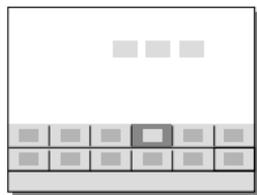


Fnボタン

2 コントロールホイールの上/下/左/右を押して、設定する機能を選ぶ。

3 コントロールホイールを回して希望の設定を選び、中央を押す。

- 一部の機能は、コントロールダイヤルを回して微調整値の設定もできます。



専用画面で設定するには

手順2で、設定する機能を選んでコントロールホイールの中央を押すと、その項目設定の専用画面になります。操作ガイドに従って設定してください。



操作ガイド

AF/MF/AEL切換レバーの使いかた

AF/MF/AEL切換レバーの位置を変えることでAF/MF/AELボタンの機能をAF/MFボタンとAELボタンに切り換えることができます。

レバーを「AF/MF」に合わせてボタンを押すと、一時的にオートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り換えます (AF/MFコントロール)。

レバーを「AEL」に合わせてボタンを押すと、露出が固定されます (AEロック)。



画面表示を変える

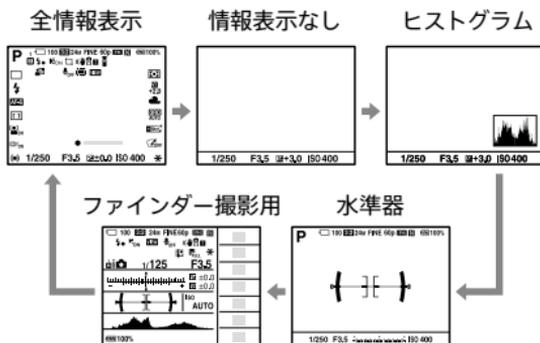
画面表示を切り換える(撮影/再生)

表示される画面表示を切り換えます。

DISP (画面表示)を押す。

- ファインダー表示を変更する場合には、ファインダーをのぞきながらDISPボタンを押してください。
- DISPボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。
- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

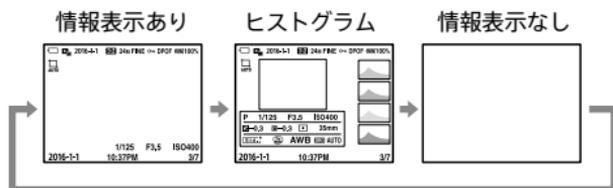
撮影時(モニター)



撮影時(ファインダー)



再生時(モニター/ファインダー)



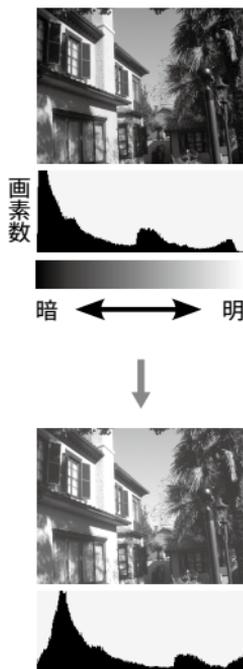
- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します(白とび黒つぶれ警告)。
- 再生時の設定は、[オートレビュー]でも反映されます。

■ヒストグラム

ヒストグラムとは輝度分布のことで、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。左に行くほど暗く、右は明るいことを表しています。

露出補正をかけると、ヒストグラムもそれに応じて変化します。

ヒストグラムの左右両端のデータは、白とび/黒つぶれした部分があることを表しています。このような部分は、撮影後、画像をパソコンで補正しても再現することはできません。必要に応じて露出補正をしてから撮影してください。



ご注意

- 撮影時のファインダー表示とモニター表示はそれぞれ独立して設定できます。ファインダーの画面表示はファインダーをのぞいた状態で設定してください。
- パノラマ撮影時は[ヒストグラム]が表示できません。
- ヒストグラムは、撮影結果ではなく、画面で見ている画像のヒストグラムになります。絞り値などにより結果が異なります。
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとき大きく異なります。
 - フラッシュ発光したとき
 - 夜景などの低輝度な被写体のとき
- 動画撮影時は、[ファインダー撮影用]が表示できません。

ヒント

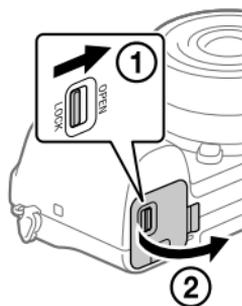
- お買い上げ時の設定では、以下は表示されません。
 - グラフィック表示
 - 全情報表示(ファインダー使用時)
- 表示する内容を変更するときは、MENU →  2(撮影設定2) → [DISPボタン] から設定を変更してください。

スタートガイド

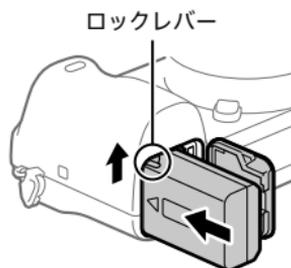
ステップ1：バッテリーとメモリーカードを入れる

本機で使用できるメモリーカードについては、108ページをご覧ください。

1 バッテリー /メモリーカード カバーを開ける。

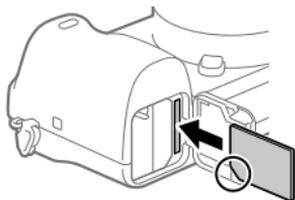


2 バッテリーの端でロックレバーを押しながら入れ、バッテリーがロックされるまで押し込む。



3 メモリーカードを入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きに合わせ、「カチッ」と音がするまで奥に差し込んでください。正しく挿入しないと故障の原因になります。



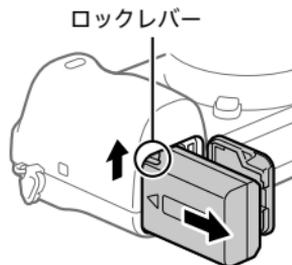
4 カバーを閉じる。

ヒント

- メモリーカードの動作を安定させるために、本機ではじめてお使いになるメモリーカードは、まず、本機でフォーマット(初期化)することをおすすめします(95ページ)。

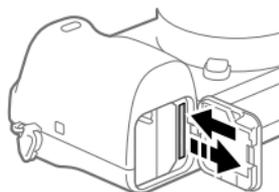
■ バッテリーを取り出すには

アクセスランプ(19ページ)が点灯していないことを確認してから電源を切り、ロックレバーをずらして、バッテリーを引き出します。このとき、バッテリーが落下しないよう、注意してください。



■ メモリーカードを取り出すには

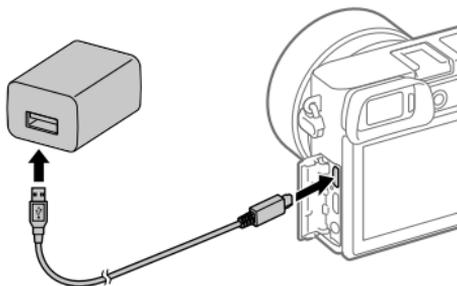
アクセスランプ(19ページ)が点灯していないことを確認し、メモリーカードを一度押します。



ステップ2：バッテリーをカメラに入れたまま充電する

1 本機の電源を切る。

2 バッテリーを入れた本機とACアダプター（付属）をマイクロUSBケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。



カメラの充電ランプ(オレンジ色)

点灯：充電中

消灯：充電終了

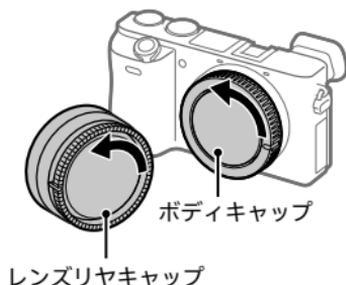
点滅：充電エラー、または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

- 充電時間の目安（満充電）：約150分（バッテリーを使い切ってから、温度25°Cの環境下で充電した場合）
- お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電では充電ランプが速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーやUSBケーブルを取りはずし、再度充電してください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

ステップ3：レンズを取り付ける

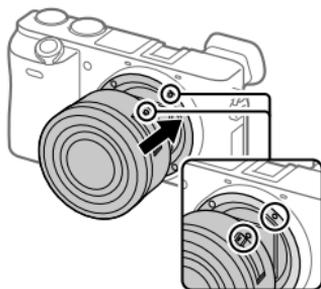
1 本機のボディキャップとレンズの後ろのレンズリヤキャップをはずす。

- カメラ内部にゴミやほこりが入らないように、ほこりの少ない場所ですばやく行ってください。

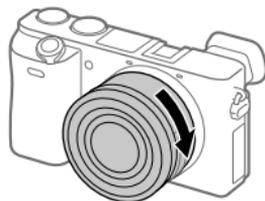


2 レンズと本機の2つの白色の点(マウント標点)を合わせてはめ込む。

- ゴミやほこりが入らないよう、マウントを下向きにして取り付けてください。



3 レンズを軽く本機に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

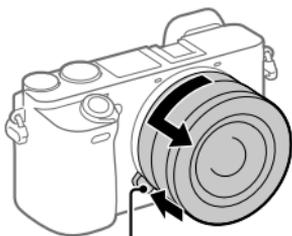


ご注意

- レンズを斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- Aマウントレンズ(別売)をご使用の場合は、別売のマウントアダプターが必要です。マウントアダプターを使用する場合は、マウントアダプターの取扱説明書もご覧ください。
- レンズを取り付けてカメラを持ち運ぶときは、カメラとレンズの両方をしっかり持ってください。
- ズームやピント合わせなどで繰り出たレンズ部分を持って、カメラを保持しないでください。

■ レンズを取りはずすには

レンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して取りはずします。



レンズ取りはずしボタン

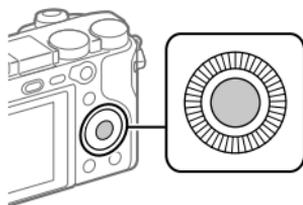
ステップ4：電源を入れて日付と時刻を設定する

1 ON/OFF (電源)スイッチを「ON」にして、本機の電源を入れる。



ON/OFF (電源)スイッチ

- 2 モニターの表示で[実行]が選ばれていることを確認し、コントロールホイールの中央を押す。



- 3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、中央を押す。

- 4 コントロールホイールの上/下を押す、またはホイールを回して[日時]を選び、中央を押す。

サマータイム：日本では、サマータイムは[切]にする。

表示形式：日付表示順を選ぶ。

- 5 コントロールホイールの上/下/左/右で希望の設定を選び、中央を押す。

- 真夜中は12：00AM、正午は12：00PMです。
- [日時]を設定する場合は、上/下を押して数値を変更してください。

- 6 手順4、5を繰り返して、すべて設定し、[実行]を選んで中央を押す。

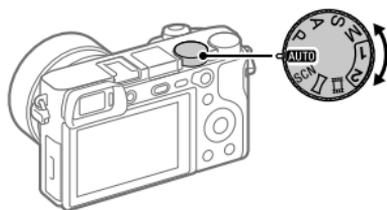
ヒント

- あとで日付設定をしたい場合は、MENUボタンを押すとキャンセルできます。その場合、次に電源を入れると日付設定画面が再表示されます。
- 設定完了したあとに設定し直したい場合は、メニューで設定できます(94ページ)。

ご注意

- 本機には、画像に日付を挿入する機能はありません。PlayMemories Homeを使用すると、日付を入れて保存/印刷できます(Windows版のみ)。

ステップ5：オートモードで撮影する



- 1 モードダイヤルを回して**AUTO**にする。
- 2 ファインダーをのぞいて、本機を構える。
- 3 ズームレンズを取り付けている場合は、ズームリングを回して被写体の大きさを決める。
- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
 - ピントが合うとフォーカス表示(●など)が点灯します。
- 5 シャッターボタンを深く押し込む。

■動画を撮影するには

MOVIE (動画) ボタンを押すと、撮影を開始/終了できます。

■画像を再生するには

▶(再生) ボタンを押すと再生モードになります。コントロールホイールで画像を選べます。

■表示中の画像を削除するには

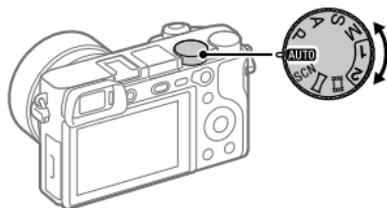
削除したい画像を表示中に、 (削除) ボタンを押します。確認のメッセージが出たら、コントロールホイールで[削除]を選び、中央を押すと削除できます。

■撮影モードを変えて撮影するには

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、モードダイヤルを合わせます(50ページ)。

静止画を撮影する

- 1 モードダイヤルを回して、好みの撮影モードを選ぶ。



- 2 モニターを見やすい角度に調節して、本機を構える。または、ファインダーをのぞいて、本機を構える。
- 3 ズームレンズを取り付けている場合は、ズームリングを回して被写体の大きさを決める。

- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がして、フォーカス表示(●など)が点灯する。



- 5 シャッターボタンを深く押し込む。

■ フォーカスを固定して好みの構図で撮影するには(フォーカスロック)

オートフォーカス時に、希望の被写体にピントを固定して撮影します。

① MENU → 1 (撮影設定1) → [フォーカスモード] → [シングルAF] または [AF制御自動切り換え] を選ぶ。

② ピントを合わせたい被写体にフォーカスエリアを合わせ、シャッターボタンを半押しする。

ピントが固定される。

- ピントが合いにくい場合は、[フォーカスエリア]を[中央]または、[フレキシブルスポット]にします。



③ シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に戻す。



④ シャッターボタンを押し込んで撮影する。

ヒント

- 自動でピントを合わせられない場合は、フォーカス表示が点滅し、「ピピッ」と電子音が鳴りません。構図を変えたり、フォーカス設定を変えるなどしてください。なお、[コンティニューアスAF]に設定している場合は、が点灯し、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

ご注意

- [フォーカスモード]を[AF制御自動切り換え]に設定していても、被写体が動いているとカメラが判断した場合は、フォーカスロックできません。

フォーカス(ピント)を合わせる

フォーカスモード

被写体の動きに応じてピント合わせの方法を選べます。

MENU →  **1 (撮影設定1)** → [フォーカスモード] → 希望の設定を選ぶ。

AF-S (シングルAF) : ピントが合った時点でピントを固定する。動きのない被写体で使う。

AF-A (AF制御自動切り換え) : 被写体の動きに応じて、シングルAFとコンティニユアスAFが切り替わる。シャッターボタンを半押しすると、被写体が静止していると判断したときはピント位置を固定し、被写体が動いているときはピントを合わせ続ける。連続撮影時は、2枚目以降自動的にコンティニユアスAFに切り替わります。

AF-C (コンティニユアスAF) : シャッターボタンを半押ししている間中、ピントを合わせ続ける。動いている被写体にピントを合わせるときに使う。[コンティニユアスAF]では、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

DMF (DMF (ダイレクトマニュアルフォーカス)) : オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動で微調整できる。最初からマニュアルフォーカスでピントを合わせるよりもすばやくピント合わせができ、マクロ撮影などに便利です。

MF (マニュアルフォーカス) : ピント合わせを手動で行う。オートフォーカスで意図した被写体にピントが合わないときには、マニュアルフォーカスで操作してください。

■ フォーカス表示

- 点灯：ピントが合って固定されている。
- 点滅：ピントが合っていない。
- ⦿点灯：ピントが合っている。被写体の動きに合わせてピント位置が変わる。
- ⊖点灯：ピント合わせの途中。

■ ピントが合いにくい被写体

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体
- ビルの外観など、繰り返しパターンの連続するもの
- フォーカスエリアの中に距離の異なるものが混じっているとき

■ ご注意

- 位相差AFに対応しているレンズを装着しているときのみ、[AF制御自動切り換え]が使えます。
- [コンティニュアスAF]または[AF制御自動切り換え]に設定しているときは、画角が小刻みに変化することがありますが、撮影画像に影響ありません。
- 動画撮影時は、[コンティニュアスAF]または[マニュアルフォーカス]のみ選べます。

■ ヒント

- [コンティニュアスAF]に設定しているとき、[フォーカスホールド]機能を割り当てたキーを押すと、押している間ピントを固定することができます(77ページ)。

オートフォーカス

フォーカスエリア

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

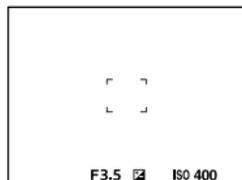
MENU →  **1 (撮影設定1)** → **[フォーカスエリア]** → **希望の設定を選ぶ。**

-  **ワイド**：モニター全体を基準に、自動ピント合わせをする。静止画撮影でシャッターボタンを半押ししたときには、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。
-  **ゾーン**：モニター上でピントを合わせたいゾーンの位置を選ぶと、その中で自動でピントを合わせる。
-  **中央**：モニター中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。フォーカスロックと併用して好きな構図で撮影が可能。
-  **フレキシブルスポット**：モニター上の好きなところに測距枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。
-  **拡張フレキシブルスポット**：フレキシブルスポットの周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周囲のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。
-      **ロックオンAF**：シャッターボタンを半押しすると、選択されたAFエリアから被写体を追尾する。フォーカスモードが[コンティニューAF]のときのみ選択可能。[フォーカスエリア]設定画面で[ロックオンAF]にカーソルを合わせて、コントロールホイールの左/右でロックオンAFの開始エリアを変更できる。追尾開始エリアをフレキシブルスポットまたは拡張フレキシブルスポットにすると、好きなところに追尾開始エリアを移動することもできる。

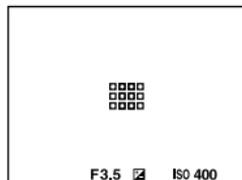
■ フォーカスエリアの測距枠表示一覧

測距枠表示は、撮影モードによって下記のように変わります。

広いエリアでピントを合わせたとき

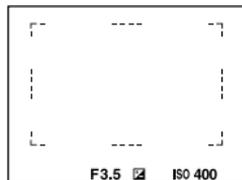


狭いエリアでピントを合わせたとき



- [フォーカスエリア]が[ワイド]または[ゾーン]のときは、動いている被写体にピントを合わせたあとに「狭いエリアでピントを合わせたとき」の表示になる場合があります。
- Aマウント用のレンズとマウントアダプター (LA-EA1、LA-EA3) (別売) を装着し、[AFシステム]が[位相差AF]のときは、「狭いエリアでピントを合わせたとき」の表示になります。

モニター全体を基準に自動でピントを合わせたとき



- 光学ズーム以外のズーム使用時は、[フォーカスエリア]の設定は無効になり、フォーカスエリア枠は点線で表示されます。中央付近を優先したAF動作になります。

■フォーカスエリアの移動方法

- [フォーカスエリア]が[ゾーン]、[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]のときに、[フォーカススタンダード]が割り当てられているボタンを押すと、コントロールホイールの上/下/左/右で測距枠の位置を変更しながら撮影できます。コントロールホイールを使って撮影設定などを変更する場合は、[フォーカススタンダード]を割り当てたボタンを押してください。
- タッチ操作で、モニターの測距枠をドラッグしすばやく移動させることができます。あらかじめ、[タッチ操作]を[切]以外に設定してください。

ご注意

- 以下の場合、[フォーカスエリア]は[ワイド]に固定されます。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
 - スマイルシャッター中
- 連続撮影時やシャッターボタンを一気に押し込んだときなどには、フォーカスエリアが点灯しないことがあります。
- モードダイヤルが**動画** (動画/スロー & クイックモーション) になっているときや動画撮影中は、[フォーカスエリア]の[ロックオンAF]は選択できません。
- [フォーカスエリア]が[ワイド]または[ゾーン]のときは、撮影する被写体や構図に合わせて、測距枠のサイズが以下のように自動的に変更される場合があります。
 - 風景など、広いエリアにピントを合わせたとき：測距枠が大きく表示される。
 - 花や小物など、狭いエリアにピントを合わせたとき：測距枠が小さく表示される。
- 測距枠の移動中は、コントロールホイールの上/下/左/右またはカスタムボタン3に割り当てられた機能を実行できません。

■ 位相差AFについて

使用するオートフォーカスエリア内に位相差AF測距点があると、位相差AFとコントラストAFを掛け合わせたオートフォーカスになります。

■ ご注意

- 絞り値がF11より大きいときは、位相差AFを使用できません。コントラストAFのみになります。
- 位相差AFは、対応レンズでのみ使用できます。位相差AFに対応していないレンズを使用すると[AF制御自動切り換え]、[AF被写体追従感度]、[AF駆動速度]が使用できません。

また、過去にご購入されたレンズなどでは、対応レンズであっても、レンズをアップデートしないと位相差AFが動作しない場合があります。対応レンズは、専用サポートサイトでご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/ichigan/>

ドライブ機能を使う(連写/セルフタイマー)

1枚撮影、連写、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

コントロールホイールの  /  (ドライブモード) → 希望の設定を選ぶ。

• MENU →  1 (撮影設定1) → [ドライブモード]でも設定できます。

1枚撮影：通常の撮影方法。

 **連続撮影**：シャッターボタンを押している間、連続撮影する。

 **セルフタイマー**：シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影する。

 **セルフタイマー (連続)**：シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで指定枚数を連続撮影する。

BRK C 連続ブラケット：シャッターボタンを押し続けることで、明るさを段階的にずらして画像を撮影する。

BRK S 1枚ブラケット：露出を段階的にずらして、指定した枚数の画像を1枚ずつ撮影する。

BRK WB ホワイトバランスブラケット：選択されているホワイトバランス・色温度/カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

BRK DRO DROブラケット：Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

ご注意

• 撮影モードが[シーンセレクション]で[スポーツ]を選んでいるときは、1枚撮影できません。

連続撮影

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 コントロールホイールの / (ドライブモード) → [連続撮影] を選ぶ。

- MENU →  1 (撮影設定1) → [ドライブモード] でも設定できます。

2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

 **連続撮影 : Hi+** : シャッターボタンを押している間、最高速で連続撮影する。

 **連続撮影 : Hi** /  **連続撮影 : Mid** /  **連続撮影 : Lo** : 連続撮影中もモニターまたはファインダーに被写体をリアルタイムに映し続けるため、被写体を追従しやすくなる。

ヒント

- 連続撮影中にピントと露出を合わせ続けるには、以下の設定に変更してください。
 - [フォーカスモード] を [コンティニューAF] にする。
 - [ シャッター半押しAEL] を [切] または [オート] にする。

ご注意

- [電子先幕シャッター] が [切] の場合、[連続撮影 : Hi]、[連続撮影 : Mid]、[連続撮影 : Lo] 時の連続撮影の速度が遅くなります。
- [連続撮影 : Hi+] で連続撮影中はモニター、ファインダーに映る被写体はリアルタイムのものではありません。
- 以下のときは、連続撮影ができません。
 - 撮影モードが [スイングパノラマ]
 - 撮影モードが [シーンセレクション] の [スポーツ] 以外
 - [ピクチャーエフェクト] が以下のとき：
 - [ソフトフォーカス] [絵画調HDR] [リッチトーンモノクロ] [ミニチュア]
 - [水彩画調] [イラスト調]
 - [DRO/オートHDR] が [オートHDR]
 - [ISO感度] を [マルチショットNR] に設定しているとき
 - [スマイルシャッター] 使用時

セルフタイマー

シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影します。5秒/10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に写るときに、2秒セルフタイマーはシャッターボタンを押したときのブレを軽減するときに使います。

1 コントロールホイールの (ドライブモード) → [セルフタイマー] を選ぶ。

- MENU →  1 (撮影設定1) → [ドライブモード] でも設定できます。

2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

シャッターボタンを押してから撮影されるまでの秒数を設定する。

 10 セルフタイマー：10秒

 5 セルフタイマー：5秒

 2 セルフタイマー：2秒

3 ピントを合わせてシャッターボタンを押す。

セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。

ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度シャッターボタンを押すか、コントロールホイールの  /  を押します。
- セルフタイマーを解除するには、コントロールホイールの  /  を押して  (1枚撮影) を選びます。
- セルフタイマー作動中の電子音を消すには、[電子音] を [切] にしてください。
- ブラケットモードでセルフタイマー撮影するには、ドライブモードでブラケットを選択したうえで、MENU →  1 (撮影設定1) → [ブラケット設定] → [ブラケット時のセルフタイマー] を選んでください。

ご注意

- 以下のときは、セルフタイマーを使えません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - [シーンセレクション]の[スポーツ]
 - [スマイルシャッター]

タッチ機能を使う

タッチ操作

モニターのタッチ操作を有効にするかどうかを設定します。
モニター撮影時のタッチ操作をタッチパネル操作と呼び、ファインダー撮影時のタッチ操作をタッチパッド操作と呼びます。

MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → 希望の設定を選ぶ。

タッチパネル+タッチパッド：モニター撮影時のタッチパネル操作と、ファインダー撮影時のタッチパッド操作を有効にする。

タッチパネル操作のみ：モニター撮影時のタッチパネル操作のみを有効にする。

タッチパッド操作のみ：ファインダー撮影時のタッチパッド操作のみを有効にする。

切：タッチ操作をすべて無効にする。

ご注意

- PlayMemories Camera Appsからダウンロードしたアプリケーションでは、タッチパッド操作はできません。

タッチフォーカス

静止画または動画撮影時、ピントを合わせる被写体をタッチ操作で選択できます。

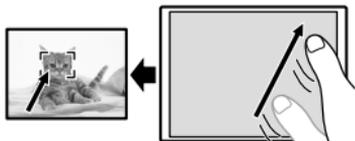
MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → [切]以外の希望の設定を選ぶ。

■ 静止画撮影時にピントを合わせたい位置を指定する

モニターにタッチして希望の場所にピントを合わせます。

- ① [フォーカスエリア]を[フレキシブルスポット]以外にする。
- ② MENU → 1 (撮影設定1) → [中央ボタン押しロックオンAF] → [切]を選ぶ。
- ③ モニターにタッチする。

- モニター撮影時は、ピントを合わせたい被写体にタッチします。
- ファインダー撮影時は、ファインダーをのぞきながらモニターをタッチしてドラッグすると、ピント合わせの位置を移動できます。



- シャッターボタンを半押しすると枠内にピントが合います。撮影するにはそのままシャッターボタンを押しこんでください。
- タッチ操作によるピント合わせを解除するには、モニター撮影時は、xをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押してください。ファインダー撮影時は、コントロールホイールの中央を押してください。

■ 動画撮影時にピントを合わせたい位置を指定する(スポットフォーカス)

タッチした被写体にピントを合わせます。ファインダー撮影時は、スポットフォーカスは使用できません。

- ① [フォーカスエリア]を[フレキシブルスポット]以外にする。
- ② MENU → 1 (撮影設定1) → [中央ボタン押しロックオンAF] → [切]を選ぶ。

③ 録画開始前もしくは録画中にピントを合わせたい被写体をタッチする。

- タッチすると一時的にマニュアルフォーカスになり、フォーカスリングでピントを調整できます。
- スポットフォーカスを解除したい場合は、xをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押してください。

ヒント

- タッチフォーカス機能のほかに、以下のようなタッチ操作が可能です。
 - [フォーカスエリア]が[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]のときは、タッチ操作で測距枠を移動できます。
 - [フォーカスモード]が[マニュアルフォーカス]のときは、モニターをダブルタップするとピント拡大の操作が行えます。
- これらのタッチ操作はPlayMemories Camera Appsからダウンロードしたアプリケーションでも行うことができます。

ご注意

- 以下のとき、タッチフォーカス機能は使えません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - [フォーカスモード]が[マニュアルフォーカス]
 - デジタルズーム中
 - LA-EA2、LA-EA4装着時
 - LA-EA1、LA-EA3装着時の動画モード
- PlayMemories Camera Appsからダウンロードしたアプリケーションでは、タッチフォーカス機能は使えません。

静止画の画像サイズ/画質を選ぶ

📷画像サイズ

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも精細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

MENU → 📷1 (撮影設定1) → [📷 画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。

| [横縦比]が3：2のとき | | [横縦比]が16：9のとき | |
|---------------|-------------|---------------|-------------|
| L:24M | 6000×4000画素 | L:20M | 6000×3376画素 |
| M:12M | 4240×2832画素 | M:10M | 4240×2400画素 |
| S:6.0M | 3008×2000画素 | S:5.1M | 3008×1688画素 |

📌ご注意

- [📷画質]で[RAW]、[RAW+JPEG]を選ぶと、RAW画像の画像サイズはL相当となります。

📷画質

MENU → 📷1 (撮影設定1) → [📷 画質] → 希望の設定を選ぶ。

RAW：ファイル形式：RAW（圧縮Raw形式で記録）

デジタル処理などの加工をしていないファイル形式。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときに選ぶ。

- 画像サイズは常に最大サイズで固定され、モニターには画像サイズは表示されない。

RAW+JPEG：ファイル形式：RAW（圧縮Raw形式で記録）+JPEG

RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG画像、編集用にはRAW画像を使うなど、両方の画像を記録したい場合に便利。JPEGの画質は[ファイン]になる。

エクストラファイン：ファイル形式：JPEG

画像がJPEG形式で圧縮され、[ファイン]よりきれいな画質で記録される。

ファイン：ファイル形式：JPEG

画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。

スタンダード：ファイル形式：JPEG

画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。[スタンダード]は[ファイン]に比べて圧縮率が高くなるためデータ量が少なくなる。1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

RAWについて

- 本機で撮影したRAW画像を開くにはImage Data Converterが必要です。このソフトウェアを使えば、RAW画像を開いたあと、JPEGやTIFFのような一般的なフォーマットに変換したり、ホワイトバランス、彩度、コントラストなどを再調整することができます。
- RAW形式の画像には、[オートHDR]、[ピクチャーエフェクト]を設定できません。
- 本機で撮影したRAW画像は、1ピクセルに対して14ビットの分解能を持っています。ただし、以下の撮影時は、12ビットの分解能に制限されます。
 - [📷 長秒時NR]
 - [BULB]
 - 連続撮影(プレミアムおまかせオート時の複数枚連写なども含む)
 - [📷 サイレント撮影]

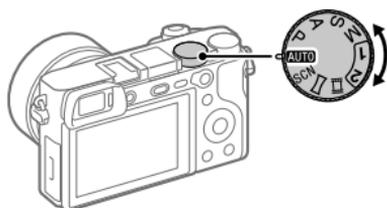
ご注意

- パソコンでの加工を予定していない場合は、JPEG形式で記録することをおすすめします。
- RAW画像には、DPOF (プリント予約)指定できません。

撮影モードを変える

モードダイヤルの機能一覧

モードダイヤルを回して、希望の撮影モードを選べます。



■ 設定できる機能

| | |
|---------------------------------|--|
| AUTO (オートモード) | 本機が適切だと判断した値で設定され、被写体や環境を選ばずに、手軽に撮影できる。 |
| P (プログラムオート) | 露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定するが、その他の設定は自分で調整できる。 |
| A (絞り優先) | 背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。 |
| S (シャッタースピード優先) | 動きの速いものを撮るときなど、シャッタースピードを設定して撮影する。 |
| M (マニュアル露出) | 露出(シャッタースピードと絞り)を調節して、好みの露出で撮影する。 |
| 1/2 (登録呼び出し) | あらかじめ登録しておいた、よく使うモードや数値の設定を呼び出して撮影できる。 |
| 動画 (動画/スロー&クイックモーション) | 動画撮影やスローモーション/クイックモーション撮影の露出モードを設定して、動画を撮影できる。 |
| スイング (スイングパノラマ) | 画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。 |
| SCN (シーンセレクション) | 撮りたい被写体や環境に合ったモードを選べると、被写体に適した設定で撮影できる。 |

オートモードを切り替える(オートモード)

オートモード([おまかせオート]または[プレミアムおまかせオート])を切り替えます。

1 モードダイヤルをAUTOにする。

2 MENU → 1 (撮影設定1) → [オートモード] → 希望の設定を選ぶ。

i  おまかせオート：カメラがシーンを自動で判別して、オート撮影する。

i + プレミアムおまかせオート：カメラまかせでブレやノイズを抑えてオート撮影する。

オート撮影の特徴

本機には[おまかせオート]および[プレミアムおまかせオート]の2つのオート撮影機能が搭載されています。

i  (おまかせオート)：カメラまかせでシーン認識をして撮影したいときに使います。

i + (プレミアムおまかせオート)：カメラまかせでシーン認識をして撮影したいとき、特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影したいときに使います。

ご注意

- [プレミアムおまかせオート]では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。このとき、シャッター音が複数回聞こえることがありますが、記録される画像は1枚です。
- [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません。

P プログラムオート

露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定します。
[ISO感度]などの撮影機能を好みの設定に変更できます。

1 モードダイヤルをP (プログラムオート)にする。

2 撮影機能を希望の設定にする。

3 ピントを合わせて撮影する。

■ プログラムシフト

フラッシュを使用していないときに、カメラが設定した適正露出のままシャッタースピードと絞り(F値)の組み合わせを変更できます。シャッターボタンを半押しして露出を合わせた状態でコントロールダイヤルを回し、絞り値とシャッタースピードの組合せを選んでください。

- コントロールダイヤルを回すと、モニターの表示が「P」から「P*」に変わります。
- 解除するには、撮影モードを[プログラムオート]以外にするか、本機の電源を切ってください。

ご注意

- 撮影する環境の明るさによって、プログラムシフトができない場合があります。
- 撮影モードを「P」以外にするか、電源を切ると設定は解除されます。
- 明るさが変わるとシャッタースピードと絞り(F値)はプログラムシフトの組み合わせを保持したまま変化します。

A 絞り優先

ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

1 モードダイヤルをA (絞り優先)にする。

2 コントロールダイヤルで希望の数値を選ぶ。

- 絞り値を小さくする：被写体の前後がぼける。
絞り値を大きくする：被写体の前後までくっきりとピントが合う。
- 設定した絞り値で適正露出にならないと本機が判断した場合は、シャッタースピードが点滅します。この場合は、絞り値を変更してください。

3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、シャッタースピードが自動的に設定される。

ご注意

- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

S シャッタースピード優先

シャッタースピードを調整し、動きを止めて写したり、軌跡を写したりするなど動くものの表現を変えた撮影ができます。

1 モードダイヤルをS (シャッタースピード優先)にする。

2 コントロールダイヤルで希望の数値を選ぶ。

- 設定したシャッタースピードで適正露出にならないと本機が判断した場合は、絞り値が点滅します。この場合は、シャッタースピードを変更してください。

3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、絞り値が自動的に設定される。

ヒント

- シャッタースピードを遅くするときは手ブレを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- 室内スポーツを撮影するときは、ISO感度を高くしてください。

ご注意

- シャッタースピード優先モードでは、手ブレ警告アイコンは表示されません。
- [長秒時NR]を[入]にしているときは、シャッタースピードを1秒または1秒より遅くして撮影(長時間露光)すると、シャッターを開けていた時間と同時間のノイズ軽減処理をします。処理中は撮影できません。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

M マニュアル露出

絞り値とシャッタースピードの両方を調節して、自分の好みの露出で撮影できます。

1 モードダイヤルをM (マニュアル露出)にする。

2 コントロールホイールを回して、シャッタースピードを選ぶ。 コントロールダイヤルを回して、絞り値を選ぶ。

- MENU → 2 (撮影設定2) → [ダイヤル/ホイールの設定]でコントロールダイヤルとコントロールホイールを設定を入れ換えることができます。
- マニュアル露出モードでも[ISO感度]を[ISO AUTO]に設定できます。調整した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO感度が変化します。
- [ISO感度]を[ISO AUTO]に設定したとき、設定した値で適正露出にならないと本機が判断した場合は、ISO感度の表示が点滅します。この場合はシャッタースピードまたは絞り値を変更してください。

- [ISO感度]が[ISO AUTO]以外の場合、「MM」(メータードマニュアル) *で露出値を確認できます。
 - +側：明るく写る。
 - 側：暗めに写る。
 - 0：本機が判断した適正露出。
- * 適正露出に対するアンダー / オーバーを示します。モニターでは数値で、ファインダーでは測光インジケータで表示されます。

3 ピントを合わせて撮影する。

ヒント

- AF/MF/AEL切替レバーをAELにして、AELボタンを押しながらコントロールダイヤルを回すと、設定した露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます。(マニュアルシフト)

ご注意

- [ISO感度]を[ISO AUTO]にしたときは、メータードマニュアルは表示されません。
- メータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- マニュアル露出モードでは、手ブレ警告アイコンは表示されません。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

Mバルブ撮影

長時間露光で、動きの軌跡を撮影できます。

星の軌跡や、花火の光が尾を引くような写真を撮る場合に適しています。

1 モードダイヤルをM (マニュアル露出)にする。

2 [BULB]が出るまでコントロールホイールを左に回す。

3 コントロールダイヤルを回し、絞り値(F値)を選ぶ。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。

5 必要な時間、シャッターボタンを押し続けて撮影する。

シャッターボタンを押し続けている間、シャッターが開いたままになる。

ヒント

- 打ち上げ花火などのときは、マニュアルフォーカスにしてピントを無限遠にしてください。無限遠の位置がわからないレンズの場合は、同じような場所にかかる花火であらかじめピントを決めて撮影します。
- 画質を低下させずにバルブ撮影を行うためには、本機の温度が下がった状態で撮影を開始することをおすすめします。
- 画像がブレやすくなるため、三脚やシャッターボタンのロック機能を持つ対応リモートコマンダー（別売）のご使用をおすすめします。リモートコマンダーはマルチ/マイクロUSB端子での接続に対応したものをお使いください。

ご注意

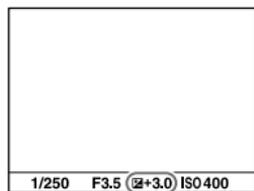
- 露光時間が長いほど、画面内のノイズは目立ちやすくなります。
 - 撮影後はシャッターが開いていた時間分だけ、ノイズ軽減処理が行われます。処理中は撮影できません。
 - 以下の場合はシャッタースピードを[BULB]に設定できません。
 - [スマイルシャッター]
 - [オートHDR]
 - [ピクチャーエフェクト]が[絵画調HDR]または[リッチトーンモノクロ]
 - [マルチショットNR]
 - [ドライブモード]が以下のとき
 - [連続撮影]
 - [セルフタイマー（連続）]
 - [連続ブラケット]
 - [📷サイレント撮影]
- シャッタースピードを[BULB]に設定しているときに、上記機能を使用すると、シャッタースピードは一時的に30秒になります。

露出補正

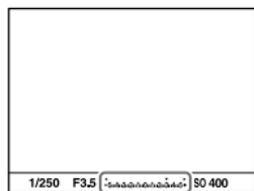
通常は、露出が自動的に設定されます(自動露出)。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると画像全体を明るく、-側に補正すると画像全体を暗くできます(露出補正)。

**コントロールホイールの☒
(露出補正) → コントロールホイールの左/右を押す、またはホイールを回して希望の補正值を選ぶ。**

- MENU →  1 (撮影設定1) → [露出補正]でも設定できます。
- 露出は-5.0 EV ~ +5.0 EVの範囲で設定できます。
- 設定した露出補正值は撮影画面で確認できます。



モニター表示



ファインダー表示

ご注意

- 撮影モードが以下のときは、露出補正できません。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
- [マニュアル露出]時は、[ISO感度]が[ISO AUTO]のときのみ露出補正できます。
- 撮影時に画面で確認できる数値は-3.0EVから+3.0EVまでです。その範囲外に設定した場合は、撮影時の画面では明るさは変わりませんが、記録した画像には反映されます。
- 動画撮影時は-2.0EVから+2.0EVの範囲で調整できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、充分な効果が得られないことがあります。

ISO感度を選ぶ

光に対する感度は、ISO感度(推奨露光指数)で表します。数値が大き
いほど高感度になります。

コントロールホイールのISO (ISO感度) → 希望の設定を選ぶ。

• MENU →  (撮影設定1) → [ISO感度]でも設定できます。

マルチショットNR: 連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を
撮影する。右を押して設定画面を表示させ、上/下で希望の数値を選ぶ。
ISO AUTO、ISO 100 ~ ISO 51200の中から希望の数値を選ぶ。

ISO AUTO: カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。

ISO 100 ~ ISO 51200: お好みの感度をマニュアルで設定する。数値が大き
いほど高感度になる。

ヒント

- [ISO AUTO]時に自動設定されるISO感度の範囲を変更できます。[ISO AUTO]を選
択したときに、コントロールホイールの右を押して、[ISO AUTO 上限] /
[ISO AUTO 下限]を選んで希望の数値を設定してください。この設定は
[マルチショットNR]の[ISO AUTO]時にも反映されます。
- [マルチショットNR]の[NR効果]で、ノイズリダクションの強さを設定できます。

ご注意

- [画質]が[RAW]、[RAW+JPEG]のとき、[マルチショットNR]は設定できません。
- [マルチショットNR]を選んでいるとき、フラッシュ、[Dレンジオプティマイザー]、
[オートHDR]は使用できません。
- [ピクチャープロファイル]が[切]以外のとき、[マルチショットNR]は設定できませ
ん。
- [ピクチャーエフェクト]が[切]以外のとき、[マルチショットNR]は設定できません。
- 以下のときは、[ISO AUTO]に設定されます。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
 - [スイングパノラマ]
- ISO感度が高くなるほど、ノイズが増えます。

- 静止画撮影時、動画撮影時、またはスロー&クイックモーション撮影時で、選べる設定が異なります。
- 動画撮影時はISO100～ISO25600の範囲で選べます。ISO25600よりも大きい値の状態では動画撮影を始めると、ISO25600に切り替わります。動画撮影を終えると元のISO値に戻ります。
- [マルチショットNR]を使用すると、重ね合わせ処理のため、記録処理に時間がかかります。
- 撮影モードが「P」、「A」、「S」、「M」のとき、ISO感度を[ISO AUTO]にすると、設定された範囲内で自動設定されます。

ズームする

ズーム設定

本機で行うズーム範囲を設定できます。

MENU → **📷2 (撮影設定2)** → **[ズーム設定]** → **希望の設定を選ぶ。**

光学ズームのみ：ズーム範囲を光学ズームの範囲内に制限します。

[画像サイズ] がMまたはSの場合のみ、スマートズーム範囲も使用できます。

入：全画素超解像ズーム：全画素超解像ズーム範囲まで使用する場合はこの設定を選びます。光学ズーム範囲を超えても、画質がほとんど劣化しません。

入：デジタルズーム：全画素超解像ズーム倍率を超えた場合に、画質は劣化するが、最大倍率が大きいズームを行えます。

ご注意

- 画質が劣化しない範囲でのみズームしたい場合は、[光学ズームのみ]を設定してください。

ズーム倍率について

画像サイズによって、レンズのズーム倍率に組み合わせられる倍率は変わります。

[横縦比] が [3 : 2] の場合

| ズーム設定 画像サイズ | 光学ズームのみ (スマートズーム) | 入：全画素超解像 ズーム | 入：デジタルズーム |
|----------------|----------------------|-----------------|-----------|
| L:24M | — | 約2倍 | 約4倍 |
| M:12M | 約1.4倍 | 約2.8倍 | 約5.7倍 |
| S:6.0M | 約2倍 | 約4倍 | 約8倍 |

ホワイトバランス

撮影環境での光の色の影響を補正して、白いものを白く写すための機能です。画像の色合いが思った通りにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに使います。

MENU → **1 (撮影設定1)** → **[ホワイトバランス]** → **希望の設定を選ぶ。**

AWB AWB オート / 太陽光 / 日陰 / 曇天 / 電球 /
 崇-1 蛍光灯：温白色 / 崇0 蛍光灯：白色 / 崇+1 蛍光灯：昼白色 /
 崇+2 蛍光灯：昼光色 / フラッシュ / 水中オート：被写体を照らしている光源を選ぶと、選んだ光源に適した色あいになる(プリセットホワイトバランス)。**[オート]**を選ぶと本機が光源を自動判別し、適した色合いに調整する。

色温度・カラーフィルター：光源の色に合わせて設定する(色温度)。写真用のCC(色補正)フィルターと同等の効果が得られる(カラーフィルター)。

カスタム 1/カスタム 2/カスタム 3：[カスタムセット]で取得した設定を使用する。

SET カスタムセット：撮影する光源下で基準になる白色を取得する。登録先の番号を選び決定する。

ヒント

- コントロールホイールの右を押すと、微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。
- 選んだ設定で思い通りの色にならないときは、ホワイトバランスブラケット撮影を行います。
- AWB 、AWB は [AWB時の優先設定] を [雰囲気優先] または [ホワイト優先] に設定したときのみ表示されます。

ご注意

- 以下のときは、[ホワイトバランス]は[オート]に固定されます。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
- 水銀灯やナトリウムランプのみが光源の場合、光の特性上、正確なホワイトバランスが得られません。フラッシュを発光して撮影するか、[カスタムセット]のご使用をおすすめします。

手ブレを補正する

手ブレ補正機能を使うかどうかを設定します。

MENU → **📷2 (撮影設定2)** → **[手ブレ補正]** → **希望の設定を選ぶ。**

入：[手ブレ補正]を行う。

切：[手ブレ補正]を行わない。三脚使用時は[切]にすることをおすすめします。

手ブレ補正設定

装着しているレンズによって、最適な手ブレ補正を使って撮影できません。

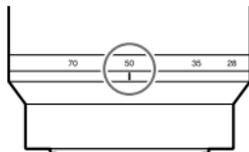
1 MENU → **📷2 (撮影設定2)** → **[手ブレ補正]** → **[入]**を選ぶ。

2 [手ブレ補正設定] → **[手ブレ補正調整]** → **希望の設定を選ぶ。**

オート：レンズから取得した情報をもとに自動で手ブレ補正する。

マニュアル：[手ブレ補正焦点距離]で設定した焦点距離で手ブレ補正する。
(8mm ~ 1000mm)

- 撮影時のレンズ焦点距離を設定してください。



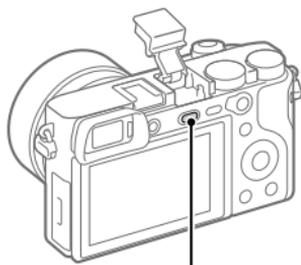
ご注意

- ON/OFF（電源）スイッチを「ON」にした直後やカメラを構えた直後、シャッターボタンを半押しせずに一気に押し込んだときは、手ブレ補正の効果が得られにくいことがあります。
- 三脚を使う場合には、手ブレ補正機能が誤動作するおそれがあるため、[手ブレ補正]を[切]にしてください。
- MENU →  2（撮影設定2） → [手ブレ補正]が[切]のとき、[手ブレ補正設定]は使えません。
- レンズから焦点距離などの情報が取得できないときは、手ブレ補正が正しく動作しません。[手ブレ補正調整]を[マニュアル]にして、装着しているレンズに合わせて[手ブレ補正焦点距離]を設定してください。その場合、の横に、設定している手ブレ補正焦点距離の値が表示されます。
- レンズSEL16F28（別売）にコンバーターレンズを装着している場合などには、[手ブレ補正調整]を[マニュアル]にして、焦点距離を設定してください。
- [手ブレ補正]の[入]/[切]により、ボディ内/レンズ内同時に設定が切り替わります。
- 手ブレ補正スイッチ付きレンズを装着している場合、レンズ側のスイッチ操作でのみ変更が可能となるため、本機では設定を切り換えることができません。

フラッシュを使う

暗い場所での撮影や逆光での撮影では、フラッシュを使うと被写体を明るく写せます。また、手ブレを抑えるのにも役立ちます。

- 1 (フラッシュポップアップ) ボタンを押して、発光部を上げる。



⚡(フラッシュポップアップ)ボタン

- 2 シャッターボタンを押して撮影する。

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

■フラッシュを使わないときは

フラッシュを使用しない場合は、手でフラッシュ発光部を下げてください。

ご注意

- フラッシュ光がレンズでさえぎられて、写真下部に影ができることがあります。レンズフードを取りはずしてください。
- フラッシュ発光時は被写体から1m以上離れて撮影してください。
- フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、故障の原因となることがあります。
- 動画撮影時はフラッシュは使用できません。
- 別売のフラッシュをマルチインターフェースシューに取り付けると、別売のフラッシュの状態が優先されます。本機内蔵のフラッシュは使用できません。
- フラッシュなどのアクセサリーをマルチインターフェースシューに取り付け/取りはずしする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、本機にしっかり固定されていることを確認してください。

- マルチインターフェースシューに、250V以上の電圧がかかる市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。故障の原因になります。
- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合は被写体から離れて撮影するか、ズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。
- レンズによってはフラッシュの光がさえぎられることがあります。
- レンズによっては、周辺の光量が落ちて撮影されることがあります。
- 対応アクセサリーについては詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
<http://www.sony.jp/support/ichigan/>

フラッシュモード

フラッシュの発光方法を設定できます。

MENU → **📷1 (撮影設定1)** → **[フラッシュモード]** → **希望の設定を選ぶ。**

🚫 発光禁止：フラッシュを発光させない。

🔦 AUTO 自動発光：光量不足や逆光と判断したとき発光する。

🔦 強制発光：必ず発光する。

🔦 SLOW スローシンクロ：必ず発光する。スローシンクロでシャッタースピードを遅くして撮ると、被写体だけでなく、背景も明るく撮れる。

🔦 REAR 後幕シンクロ：露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。走っている自動車や歩いている人など動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

🔦 WL ワイヤレス：本機のフラッシュを使用して撮影したときよりも被写体に陰影がついて立体感を出すことができる。

本機にコントローラー対応外部フラッシュ（別売）を取り付け、別のワイヤレスフラッシュ（別売）を本機から離れたところに設置して撮影する。

ご注意

- 初期値は撮影モードによって変わります。
- 撮影モードによっては選べない[フラッシュモード]があります。
- 内蔵フラッシュではワイヤレスフラッシュ撮影できません。

動画を撮影する

MOVIE (動画) ボタンを押して動画撮影できます。

1 MOVIEボタンを押して撮影を開始する。

- お買い上げ時の設定では、[MOVIE (動画) ボタン]が [常に有効] に設定されているため、すべての撮影モードから動画撮影を開始できます。



MOVIEボタン

2 もう一度MOVIEボタンを押して終了する。

ヒント

- 動画撮影開始/停止機能をお好みのキーに割り当てることができます。MENU →  2 (撮影設定2) → [カスタムキー (撮影)] → 希望のボタンに動画撮影開始/停止機能を設定してください。
- ピントを合わせるエリアを指定したいときは、[フォーカスエリア]で設定します。
- 顔にピントを合わせ続けたい場合は、フォーカスエリア枠と顔検出枠が重なるように構図を工夫します。または[フォーカスエリア]を[ワイド]に設定します。
- 動画撮影中にシャッターボタンを半押しすると、素早くピントを合わせられます。(オートフォーカスの作動音が記録される場合があります。)
- シャッタースピードや絞りを希望の値に設定したいときは、撮影モードを  (動画/スロー&クイックモーション)にします。

- 以下の設定は、静止画撮影のときの設定値をそのまま使用できます。
 - ISO感度
 - ホワイトバランス
 - クリエイティブスタイル
 - 露出補正
 - 測光モード
 - 顔検出/スマイルシャッター
 - Dレンジオブティマイザー
 - レンズ補正
 - ピクチャーエフェクト
- ISO感度、露出補正、フォーカスエリアは動画撮影中に設定を変更できます。
- [HDMI情報表示]を[なし]にすると、動画記録中でも撮影情報表示なしで記録画像を出力できます。

ご注意

- 動画記録中はカメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。MENU →  2 (撮影設定2) → [音声記録] → [切]で音声を記録しないように設定できます。
- 動画撮影時、ご使用状況によってはショルダーストラップ取り付け部(三角環)の音が記録されることがあります。
- 電動ズームレンズをお使いの場合、動画記録中のズームリングでの作動音が気になるときはズームレバーでの操作をお勧めします。ズームレバーを動かすときは、レバーに軽く指をかけて、レバーをはじかないように操作してください。
- 連続して撮影している場合は、本機の温度が上昇しやすく、熱く感じる場合がありますが故障ではありません。
また、[しばらく使用できません カメラの温度が下がるまで お待ちください]という表示が出る場合があります。その場合は、本機の電源を切って、本機の温度が下がるのを待ってから撮影してください。
-  が表示された場合は、本機の温度が上がっています。
- 連続撮影可能時間は「動画の記録可能時間」(110ページ)をご覧ください。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。本体やバッテリーの温度によっては、機器保護のため停止する場合があります。
- モードダイヤルが  (動画/スロー&クイックモーション) になっているときや動画撮影中は、[フォーカスエリア]の[ロックオンAF]は選択できません。
- 動画の[プログラムオート]モードでは、絞りとシャッタースピードは自動で設定され変更できません。よって、明るい環境下で高速シャッターとなり、被写体の動きが滑らかに写らない場合があります。他の露出モードにして、絞りやシャッタースピードを調整することで、より滑らかに撮影できる場合があります。

- ISO感度を[マルチショットNR]に設定しているときは、一時的に[ISO AUTO]になります。
- 動画撮影時、以下の[ピクチャーエフェクト]は設定できません。動画撮影が開始されると一時的に[切]になります。
 - ソフトフォーカス
 - 絵画調HDR
 - リッチトーンモノクロ
 - ミニチュア
 - 水彩画調
 - イラスト調
- 低感度の動画撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。
- モニターの表示がファインダー撮影用の場合、動画撮影を開始すると全情報表示に切り替わります。
- XAVC S動画やAVCHD動画、MP4動画をパソコンに取り込むときは、PlayMemories Homeを使用してください。

動画の記録フォーマットについて

本機で選べる動画の記録フォーマットについて説明します。

■ XAVC Sとは

4Kなどの高解像度の映像を、MPEG-4 AVC/H.264で高圧縮してMP4ファイル形式で記録するフォーマットです。データの容量を一定レベルに抑えながら高画質化することができます。

XAVC S/AVCHD記録フォーマットとその特長

| フォーマット | 特徴 |
|-----------|---|
| XAVC S 4K | ビットレート：約100 Mbpsまたは約60 Mbps 4K解像度(3840×2160)で記録できます。 |
| XAVC S HD | ビットレート：約100 Mbps、約60 Mbps、または約50 Mbps AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。 |
| AVCHD | ビットレート：約28 Mbps (最大)、約24 Mbps (最大)、または約17 Mbps (平均) パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。 |

- ビットレートとは、一定時間あたりの記録データ量です。

記録方式

動画を記録するときの記録方式を設定します。

MENU → **📷2 (撮影設定2)** → **[記録方式]** → **希望の設定を選ぶ。**

XAVC S 4K：XAVC S規格の4K動画を記録する。高ビットレートに対応した記録方式。

音声：LPCM

- **[記録方式]**を[XAVC S 4K]にして撮影する場合は、下記が必要です。
 - メモリースティック PRO-HG デュオ
 - 100Mbps以上では撮影できません。
 - SDHCカード/SDXCカード/microSDHCカード/microSDXCカード (SDスピードクラス10、またはUHSスピードクラス1以上)
 - 100Mbps以上で撮影する場合は、UHSスピードクラス3が必要です。
- **[記録方式]**を[XAVC S 4K]に設定したときは、[HDMI情報表示]は一時的に[なし]になります。
- **[記録方式]**を[XAVC S 4K]に設定し、本機をHDMI機器に接続しながら動画を撮影すると、モニターには画像が表示されません。

- [設定] 記録方式]を[XAVC S 4K]に設定し、本機をHDMI機器に接続したときは、[顔検出/スマイルシャッター]と[中央ボタン押しロックオンAF]は一時的に[切]になります。
- [設定] 記録方式]を[XAVC S 4K]に設定し、[同時ビデオ記録]を[入]に設定したときは、[顔検出/スマイルシャッター]と[中央ボタン押しロックオンAF]、[設定] レックコントロール]は一時的に[切]になります。また、本機をHDMI機器に接続していても、動画の撮影中はHDMI機器に映像は出力されません。

XAVC S HD : XAVC S規格のHD動画を記録する。高ビットレートに対応した記録方式。

音声 : LPCM

- [設定] 記録方式]を[XAVC S HD]にして撮影する場合は、下記が必要です。
 - メモリースティック PRO-HG デュオ
 - 100Mbps以上では撮影できません。
 - SDHCカード/SDXCカード/microSDHCカード/microSDXCカード (SDスピードクラス10、またはUHSスピードクラス1以上)
 - 100Mbps以上で撮影する場合は、UHSスピードクラス3が必要です。

AVCHD : AVCHD規格のHD動画を記録する。ハイビジョンテレビに適した記録方式。

音声 : Dolby Digital

MP4: MP4 (AVC)動画を記録する。スマートフォンやタブレットで見る、またはWEBアップロードやメールに適した記録方式。

音声 : AAC

ヒント

- ソフトウェアPlayMemories Homeを使って、画像をパソコンに保存、またはお使いの再生機器に合わせたディスクを作成できます。

ご注意

- [設定] 記録方式]が[AVCHD]の場合は、1つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、自動的に新しいファイルが作成されます。
- [設定] 記録方式]が[MP4]の場合は、1つの動画ファイルは約4GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約4GBになると、自動的に記録が止まります。

画像を見る

静止画を再生する

撮影した静止画を再生します。

1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。

2 コントロールホイールで画像を選ぶ。

ヒント

- 本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して、画像を記録し再生します。管理ファイルに未登録の画像は正しく表示されないことがあります。他機で撮影した画像を見るときは、MENU →  (セットアップ) → [管理ファイル修復] で管理ファイルに画像を登録してください。
- 連続撮影後に画像をすぐに再生すると、モニターにデータ書き込み中/書き込み残り枚数を示すアイコンが表示されることがあります(98ページ)。書き込み中は、一部の機能を使用できません。
- モニターをダブルタップすると、画像を拡大できます。また、拡大位置はモニターをドラッグして動かすこともできます。あらかじめ、[タッチ操作]を[切]以外に設定してください。

動画を再生する

撮影した動画を再生します。

1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。

2 コントロールホイールで再生したい動画を選び、中央を押して再生する。

■ 動画再生中にできること

コントロールホイールの下を押すと、スロー再生、音量調整などの操作を行えます。

| 操作パネル | できること |
|---|-----------|
|  | 再生 |
|  | 一時停止 |
|  | 早送り |
|  | 早戻し |
|  | スロー再生 |
|  | スロー逆再生 |
|  | 次の動画 |
|  | 前の動画 |
|  | コマ送り |
|  | コマ戻し |
|  | 動画から静止画作成 |
|  | 音量設定 |
|  | 操作パネルを閉じる |

ヒント

- スロー再生、スロー逆再生、コマ送り、コマ戻しは、一時停止中に選ぶことができます。
- 本機以外で撮影された動画ファイルは再生できない場合があります。

一覧表示で再生する(一覧表示)

再生時、複数の画像を同時に表示できます。

1 画像を再生中に、 (一覧表示) ボタンを押す。

2 コントロールホイールの上/下/左/右を押したり、コントロールホイールを回したりして、画像を選ぶ。

■ 表示する枚数を変更する場合

MENU →  (再生) → [一覧表示] → 希望の設定を選ぶ。

12枚/30枚

■ 1枚再生画面に戻すには

表示したい画像を選んでいる状態で、コントロールホイールの中央を押す。

■ 希望の画像をすばやく表示するには

コントロールホイールで左側のバーを選び、コントロールホイールの上/下でページを送ることができます。バーを選んでいる状態で、中央を押すと、カレンダー画面、またはフォルダー選択画面が表示されます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます。

画像を削除する

表示中の画像を削除する

表示されている画像を削除します。一度削除した画像は、元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

1 削除したい画像を表示する。

2  (削除) ボタンを押す。

3 コントロールホイールで [削除] を選ぶ。

ご注意

- プロテクトされている画像は削除できません。

よく使う設定を登録する

📷1/📷2の登録

よく使うモードやカメラの設定を、本機に2つまで、メモリーカードには4つ(M1～M4)まで登録でき、モードダイヤルで簡単に呼び出せます。

1 本機を登録したい設定にする。

2 MENU → 📷1 (撮影設定1) → [📷1/📷2の登録] → 登録先の番号を選ぶ。

3 コントロールホイールの中央で決定する。

■ 登録できる項目

- 撮影に関する様々な機能を登録できます。実際の登録可能な項目は、本機のメニューで確認してください。
- 絞り(F値)
- シャッタースピード

■ 登録した内容を変更するには

希望する設定に変更し、同じ番号に再登録してください。

■ ご注意

- M1～M4は本機にメモリーカードが挿入されている場合のみ選択できます。
- プログラムシフトは登録できません(52ページ)。

ボタンにお好みの機能を割り当てる

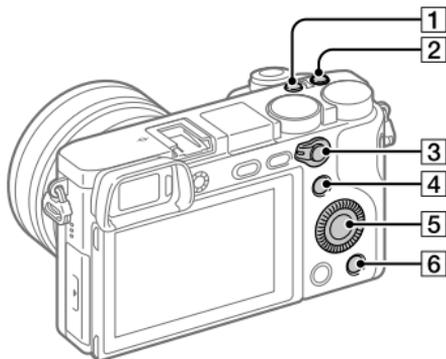
カスタムキー（撮影） / カスタムキー（再生）

希望のボタンにお好みの機能を割り当てることができます。
また、カスタムキーでのみ使える機能もあります。たとえば、
[カスタムキー（撮影）]で[中央ボタン]に[瞳AF]を割り当てておくと、
撮影時にコントロールホイールの中央を押すだけで[瞳AF]機能呼び
出すことができ便利です。

**1 MENU →  2 (撮影設定2) → [カスタムキー（撮影）]または
[カスタムキー（再生）]を選ぶ。**

2 選択画面で機能を割り当てたいボタンを選ぶ。

- [カスタムキー（撮影）]と[カスタムキー（再生）]で機能を割り当てられるボタンが異なります。
- 以下のボタンに希望の機能を割り当てられます。



- 1 カスタムボタン2
- 2 カスタムボタン1
- 3 AF/MFボタン/AELボタン
- 4 Fn/ボタン
- 5 コントロールホイール(中央ボタン/下ボタン/左ボタン/右ボタン)
- 6 カスタムボタン3

- レンズのフォーカスホールドボタンにも撮影時の機能を割り当てることができます。ただし、お使いのレンズによっては、フォーカスホールドボタンがない場合があります。

3 割り当てたい機能を選ぶ。

- ボタンによって割り当てられる機能が異なります。
-

ファンクションメニュー設定

Fn (ファンクション) ボタンを押したときに設定できる機能を選びます。

MENU → **📷2 (撮影設定2)** → **[ファンクションメニュー設定]**
→ **希望の場所に機能を設定する。**

- 設定できる機能は、本機の設定項目選択画面でご確認ください。
-

Wi-Fi/NFCワンタッチ/Bluetooth機能を使う

本機のWi-Fi/NFCワンタッチ/Bluetooth機能を使って、以下のようなことができます。

- パソコンに画像を保存する
- スマートフォンに画像を転送する
- スマートフォンをカメラのリモコンとして使う
- テレビで静止画を鑑賞する
- スマートフォンの位置情報を画像に記録する

詳しい操作方法は、ヘルプガイド(3ページ)または別紙の「Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド」をご覧ください。

PlayMemories Mobileについて

本機とスマートフォンを接続するには、PlayMemories Mobileが必要です。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

PlayMemories Mobileの詳細は、PlayMemories Mobileのサポートページ(<http://www.sony.net/pmm/>)をご覧ください。

画像に位置情報を記録する

PlayMemories Mobileアプリを使って、Bluetooth通信で接続しているスマートフォンから位置情報を取得して、画像撮影時に位置情報を記録します。

パソコン用ソフトウェア/PlayMemories Camera Appsの紹介

写真や動画をより楽しむために、パソコン用ソフトウェアやPlayMemories Camera Appsを提供しています。

パソコン用ソフトウェアを利用するには、パソコンのインターネットブラウザで下記のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードしてご利用ください。すでにインストール済みの場合も、最新版にアップデートしてご利用ください。

Windows :

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/>

Mac :

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

それぞれのソフトウェアの推奨パソコン環境は、以下のURLよりご確認ください。

<http://www.sony.net/pcenv/>

PlayMemories Home

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。XAVC S動画やAVCHD動画をパソコンに取り込む場合は、PlayMemories Homeが必要です。

以下のURLからダウンロードページに直接アクセスできます。

<http://www.sony.net/pm/>

- 本機とパソコンを接続すると、PlayMemories Homeに機能が追加される場合があります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを一度接続することをおすすめします。

Image Data Converter

RAW画像を現像し、トーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集したりすることができます。

Remote Camera Control

USBケーブルで本機と接続したパソコンから本機の設定をしたり撮影するなどのコントロールができます。

Remote Camera Controlを使うには、USBケーブルで本機をパソコンに接続する前に、MENU →  (セットアップ) → [USB接続] → [PCリモート]を選んでください。

PlayMemories Camera Apps

パソコンや本機のWi-Fi機能を使って、インターネットでアプリケーションダウンロードサイト  (PlayMemories Camera Apps) に接続して、お好みの機能を本機に追加できます。

<http://www.sony.net/pmca/>

- [ワンタッチ(NFC)]を使うと、NFC機能搭載のAndroidスマートフォンを本機の  にタッチして、ダウンロードしたアプリケーションを呼び出すことができます。

MENUの使いかた

撮影、再生、操作方法など、カメラ全体に関する設定を変更したり、カメラの機能を実行します。

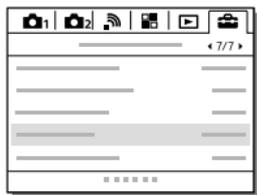
- 1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。



MENUボタン

- 2 コントロールホイールの上/下/左/右を押す、またはコントロールホイールを回してメニューを選び、中央を押す。

- 画面上部のアイコンを選んでコントロールホイールの左/右を押すと他のメニューへ移動できます。



- 3 設定値を選択して、中央を押して決定する。

MENU一覧

各MENU項目についての詳細は、一番右の列に書かれているページまたはヘルプガイドをご覧ください。

📷1 (撮影設定1)

赤色タブ

| 画質/画像サイズ | | |
|------------|---|------------|
| 📷 画質 | 静止画の画質を設定する。([RAW] / [ファイン]など) | 48 |
| 📷 画像サイズ | 静止画のサイズを選択する。(L/M/S) | 48 |
| 📷 横縦比 | 静止画の横縦比を選択する。 | ヘルプ ガイド |
| パノラマ：画像サイズ | パノラマ画像のサイズを選択する。 | ヘルプ ガイド |
| パノラマ：撮影方向 | パノラマの撮影方向を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 📷 長秒時NR | シャッタースピードを1秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 📷 高感度NR | 高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 📷 色空間 | 再現できる色の範囲を変更する。 | ヘルプ ガイド |
| レンズ補正 | レンズ補正の種類を選ぶ。 | ヘルプ ガイド |
| 撮影モード/ドライブ | | |
| オートモード | オート撮影の方法を選ぶ。 | 51 |
| シーンセレクション | 撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。([ポートレート] / [スポーツ]など) | ヘルプ ガイド |

| | | |
|----------------|---|------------|
| プレミアムオート画像抽出 | [プレミアムおまかせオート]で複数枚撮影するシーンと判定したときに、自動的に画像を1枚抽出して保存するかどうかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| ドライブモード | 連続撮影などの撮影方法を設定する。 ([セルフタイマー] / [連続ブラケット] など) | 41 |
| ブラケット設定 | ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 📷1/📷2の呼び出し | [📷1/📷2の登録]であらかじめ登録した設定を呼び出す。 | ヘルプ ガイド |
| 📷1/📷2の登録 | 好みのモード、カメラの設定を登録する。 | 76 |
| AF | | |
| フォーカスモード | ピント合わせの方法を選ぶ。 ([シングルAF] / [コンティニュアスAF] など) | 35 |
| AF-S時の優先設定 | [フォーカスモード]が[シングルAF]、[DMF]または[AF制御自動切り換え]で被写体が静止しているときに、シャッターが切れるタイミングを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| AF-C時の優先設定 | [フォーカスモード]が[コンティニュアスAF]または[AF制御自動切り換え]で被写体が動いているときに、シャッターが切れるタイミングを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| フォーカスエリア | ピント合わせの位置を選ぶ。([ワイド] / [フレキシブルスポット]など) | 37 |
| 📷 AF補助光 | 暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。 | ヘルプ ガイド |
| 中央ボタン押しロックオンAF | 撮影画面でコントロールホイールの中央を押したとき、被写体を追尾してピントを合わせ続ける機能を設定する。 | ヘルプ ガイド |

| | | |
|---|---|------------|
|  AFシステム | マウントアダプター LA-EA1、LA-EA3 (別売) を装着時のオートフォーカス方式を設定する。 | ヘルプ ガイド |
|  シャッター半押しAF | シャッターボタンを半押ししたときに、オートフォーカスによるピント合わせを行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに有効。 | ヘルプ ガイド |
|  プリAF | シャッターボタンを半押しする前から、自動でオートフォーカスするかしないかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
|  アイスタートAF | マウントアダプター LA-EA2、LA-EA4 (別売) を装着時、電子ビューファインダーをのぞくとオートフォーカスするかどうかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| フォーカスエリア自動消灯 | フォーカスエリア表示を常に表示するか、ピントが合ったあと一定時間経過後に非表示にするかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| コンティニユアスAFエリア表示 | コンティニユアスAF時にフォーカスエリアを表示するかどうかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| AF微調整 | マウントアダプター LA-EA2、LA-EA4 (別売) 装着時、オートフォーカスでのピント位置を微調整する。 | ヘルプ ガイド |
| 露出 | | |
| 露出補正 | 画像全体の明るさを補正する。 | 57 |
| ISO感度 | ISO感度を設定する。([ISO AUTO]など) | 58 |
| ISO AUTO低速限界 | ISO AUTO時に、ISO感度が変わり始める低速側のシャッタースピードを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 測光モード | 明るさを測る方法を選ぶ。([マルチ] / [スポット]など) | ヘルプ ガイド |

| | | |
|--|--|------------|
| スポット測光位置 | [フォーカスエリア]が [フレキシブルスポット]または [拡張フレキシブルスポット]のときに、 スポット測光位置をフォーカスエリアに 連動させるかどうかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 露出値ステップ幅 | シャッタースピード、絞り値、露出補正值 の設定幅を設定する。 | ヘルプ ガイド |
|  シャッター半押しAEL | シャッターボタンを半押ししたときに、 露出決定を行うかどうかを設定する。ピ ント合わせと露出決定を別々に行いたい ときに便利。 | ヘルプ ガイド |
| 露出基準調整 | カメラの適正露出値の基準を、測光モー ドごとに調整することができる。 | ヘルプ ガイド |
| フラッシュ | | |
| フラッシュモード | フラッシュの発光方式を設定する。 | 66 |
| 調光補正 | フラッシュの発光量を調整する。 | ヘルプ ガイド |
| 露出補正の影響 | 露出補正值をフラッシュの調光に反映す るかどうかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 赤目軽減発光 | フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽 減する。 | ヘルプ ガイド |
| 色/WB/画像処理 | | |
| ホワイトバランス | 撮影場所の光の状況に合わせて、白いも のを白に近い色に調整する。([オート] / [太陽光]など) | 61 |
| AWB時の優先設定 | [ホワイトバランス]が[オート]のとき、 白熱電球などの光源下で優先する色味 を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| DRO/オートHDR | 被写体や背景の明暗の差を細かな領域 に分けて分析し、最適な明るさと階調の 画像にする。 | ヘルプ ガイド |

| | | |
|---|---|------------|
| クリエイティブスタイル | お好みの画像の仕上がりを選ぶ。 コントラスト、彩度、シャープネスの調整もできる。([ビビッド] / [ポートレート] など) | ヘルプ ガイド |
| ピクチャーエフェクト | 好みの効果を使って、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できる。([トイカメラ] / [リッチトーンモノクロ] など) | ヘルプ ガイド |
| ピクチャープロフィール | 撮影する画像の発色、階調などの設定を細かく変更できる。 * 映像クリエイター向けの機能です。 | ヘルプ ガイド |
| <input checked="" type="checkbox"/> 美肌効果 | 顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| ピント補助 | | |
| ピント拡大 | 撮影前の画像を拡大してピントの確認ができる。 | ヘルプ ガイド |
| ピント拡大時間 | 拡大表示する時間を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| <input checked="" type="checkbox"/> ピント拡大中のAF | 拡大表示中に、オートフォーカスするかどうかを設定する。拡大表示中は、フレキシブルスポットより狭いエリアでピントを合わせることができる。 | ヘルプ ガイド |
| <input checked="" type="checkbox"/> MFアシスト | 手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 | ヘルプ ガイド |
| ピーキングレベル | マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。 | ヘルプ ガイド |
| ピーキング色 | 輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 顔検出/撮影補助 | | |
| 顔検出/スマイルシャッター | 人物の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。笑顔を検出すると自動で撮影する。([切] / [入(登録顔優先)] / [入] / [スマイルシャッター]) | ヘルプ ガイド |

| | | |
|--|---|--------|
| 個人顔登録 | 優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。 | ヘルプガイド |
|  オートフレーミング | 人物の顔やマクロ撮影する被写体、または[ロックオンAF]でとらえた被写体を検出して、撮影するときにシーンを分析して、印象の異なる構図で画像を保存する。 | ヘルプガイド |

2 (撮影設定2)

紫色タブ

| 動画 | | |
|--|---|--------|
| 動画/スロー&クイックモーション | 動画やスロー&クイックモーション撮影時の露出モードを設定できる。 | 50 |
|  記録方式 | 動画を記録するときの記録方式を設定する。([XAVC S 4K] / [AVCHD]など) | 70 |
|  記録設定 | 動画のサイズのフレームレートとビットレートを選択する。 | ヘルプガイド |
|  スロー&クイック設定 | スローモーション&クイックモーション撮影の設定をする。 | ヘルプガイド |
| 同時ビデオ記録 | XAVC S動画またはAVCHD動画と、MP4動画が同時に記録できる。 | ヘルプガイド |
|  AF駆動速度 | 動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせ速度を切り換える。 | ヘルプガイド |
|  AF被写体追従感度 | 動画撮影時、オートフォーカスの追従感度を設定する。 | ヘルプガイド |
|  オートスローシャッター | 動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定する。 | ヘルプガイド |
| 音声記録 | 動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。 | ヘルプガイド |
| 録音レベル | 録音レベルを調整する。 | ヘルプガイド |

| | | |
|----------------------|--|--------|
| 音声レベル表示 | 音声レベルを画面に表示するかどうかを選ぶ。 | ヘルプガイド |
| 風音低減 | 動画撮影時、風音を低減する。 | ヘルプガイド |
| 目印 マーカー表示 | 動画撮影時に、モニターにマーカーを表示するかを設定する。 | ヘルプガイド |
| 目印 マーカー設定 | 動画撮影時に表示されるマーカーを設定する。 | ヘルプガイド |
| シャッター / 手ブレ補正 | | |
| 🔇 サイレント撮影 | シャッター音を消して撮影する。 | ヘルプガイド |
| 電子先幕シャッター | 電子先幕シャッター機能を使用するかどうかを設定する。 | ヘルプガイド |
| レンズなしリリース | レンズが装着されていない状態でシャッターが切れるかどうかを設定する。 | ヘルプガイド |
| メモリーカードなしリリース | メモリーカードが入っていない状態でシャッターが切れるかどうかを設定する。 | ヘルプガイド |
| 手ブレ補正 | 撮影時の手ブレ補正を設定する。 | 63 |
| 手ブレ補正設定 | 手ブレ補正の設定をする。 | ヘルプガイド |
| ズーム | | |
| ズーム | 光学ズーム以外のズームの倍率を設定する。 | 60 |
| ズーム設定 | 全画素超解像ズーム、デジタルズームを使用するかどうかを設定する。 | 60 |
| ズームリング操作方向 | ズームリングの回転方向に対して、W/Tの割り当てを設定する。電動ズームレンズで本機能に対応したレンズのみ使用できる。 | ヘルプガイド |
| 表示 / オートレビュー | | |
| DISPボタン | DISPボタンを押してモニターやファインダーに表示する情報の種別を設定する。 | ヘルプガイド |

| | | |
|---|--|--------|
| FINDER/MONITOR | 電子ビューファインダーとモニターの表示切り換え方法を設定する。 | ヘルプガイド |
|  ファインダーフレームレート | 静止画撮影時のファインダーのフレームレートを設定する。 | ヘルプガイド |
| ゼブラ | 明るさ調整の目安になるしま表示を設定する。 | ヘルプガイド |
| グリッドライン | 構図を合わせるための線を表示する。 | ヘルプガイド |
| 露出設定ガイド | 撮影画面で露出設定を変更したときに表示するガイドの設定をする。 | ヘルプガイド |
| ライブビュー表示 | モニターの表示に、露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。 | ヘルプガイド |
| オートレビュー | 撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。 | ヘルプガイド |
| 操作カスタム | | |
| カスタムキー（撮影） | あらかじめキーに機能を設定しておく、撮影時にキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できる。 | 77 |
| カスタムキー（再生） | あらかじめキーに機能を設定しておく、再生時にキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できる。 | 77 |
| ファンクションメニュー設定 | Fn（ファンクション）ボタンで表示する機能をカスタマイズする。 | 78 |
| ダイヤル/ホイールの設定 | 撮影モードがMのとき、コントロールダイヤルとコントロールホイールに、シャッタースピードと絞り値のどちらを割り当てるかを設定する。 | ヘルプガイド |
| ダイヤル/ホイール露出補正 | コントロールダイヤルまたはコントロールホイールで露出補正ができるように設定する。 | ヘルプガイド |
| MOVIE（動画）ボタン | MOVIEボタンの有効/無効を設定する。 | ヘルプガイド |

| | | |
|--------------|---|--------|
| ダイヤル/ホイールロック | Fnボタンを押して、撮影時にコントロールダイヤル/コントロールホイールを一時的に無効にする機能を設定する。Fnボタンを押し続けることでロックまたはロック解除する。 | ヘルプガイド |
| 電子音 | ピントが合ったときや、セルフタイマー操作時の電子音の有無を設定する。 | ヘルプガイド |

📶 (ワイヤレス)

緑色タブ

| | | |
|-----------------------------------|---|--------|
| スマートフォン転送 | スマートフォンに画像を表示、転送する。 | ヘルプガイド |
| パソコン保存 | 本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに転送し、バックアップをとる。 | ヘルプガイド |
| テレビ鑑賞 | ネットワークにつながれたテレビで画像を見る。 | ヘルプガイド |
| ワンタッチ(NFC) | ワンタッチ(NFC)にアプリケーションを1つ割り当てる。撮影時にNFC対応スマートフォンを本機にタッチすると、そのアプリケーションが起動する。 | ヘルプガイド |
| 飛行機モード | 飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi/NFC/Bluetooth機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。 | ヘルプガイド |
| Wi-Fi設定 | Wi-Fiアクセスポイントの登録や、接続情報の確認と変更を行う。 | ヘルプガイド |
| Bluetooth設定 | 本機とスマートフォンをBluetooth接続するための設定をする。 | ヘルプガイド |
| <input type="checkbox"/> 位置情報連動設定 | ペアリングしたスマートフォンの位置情報を取得して、画像に位置情報を記録する。 | ヘルプガイド |
| 機器名称変更 | Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。 | ヘルプガイド |

| | | |
|--------------|----------------------|--------|
| ネットワーク設定リセット | すべてのネットワーク設定をリセットする。 | ヘルプガイド |
|--------------|----------------------|--------|

☰ (アプリケーション)

黄緑色タブ

| | | |
|--------|--------------------------------------|--------|
| アプリ一覧 | アプリケーションの一覧を表示する。使いたいアプリケーションを選択できる。 | ヘルプガイド |
| サービス紹介 | アプリケーションの使い方を表示する。 | ヘルプガイド |

▶ (再生)

青色タブ

| | | |
|-----------|------------------------------|--------|
| 削除 | 画像を削除する。 | ヘルプガイド |
| ビューモード | 画像を日付ごとや静止画/動画のフォルダごと再生する。 | ヘルプガイド |
| 一覧表示 | 画像を一覧表示する。 | 74 |
| 記録画像の回転表示 | 縦向きで記録した静止画の再生方法を設定する。 | ヘルプガイド |
| スライドショー | 画像を連続再生する。 | ヘルプガイド |
| 回転 | 画像を回転する。 | ヘルプガイド |
| ⊕ 拡大 | 再生画像を拡大表示する。 | ヘルプガイド |
| プロテクト | 画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 | ヘルプガイド |
| プリント指定 | メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 | ヘルプガイド |
| 動画から静止画作成 | 動画から希望のシーンを切り出して、静止画として保存する。 | ヘルプガイド |

| | | |
|------------|---|------------|
| モニター明るさ | モニターの明るさを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| ファインダー明るさ | 電子ビューファインダー使用時、電子 ビューファインダーの明るさを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| ファインダー色温度 | ファインダーの色温度を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| ガンマ表示アシスト | S-Logを適用した動画を表示するときに、 モニタリングをしやすいように通常の ガンマと同等のコントラストを再現する。 | ヘルプ ガイド |
| 音量設定 | 動画再生時の音量を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| アップロード設定 | 市販のEye-Fiカードを使うときのアップ ロード通信設定をする。 | ヘルプ ガイド |
| タイトルメニュー | MENUボタンを押したときに、タイトルメ ニューを表示するかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| モードダイヤルガイド | モードダイヤルガイド(各撮影モードの 説明)の表示を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 削除確認画面 | 削除の確認画面で、[削除]と [キャンセル]のどちらを選択された状態 にするかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 表示画質 | 表示画質を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| パワーセーブ開始時間 | 省電力モード(パワーセーブ)になるまで の時間を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 自動電源OFF温度 | 撮影時に本機の電源が自動で切れる温 度を設定します。手持ちで撮影する際は [標準]に設定します。 | ヘルプ ガイド |

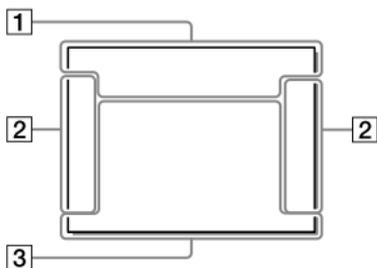
| | | |
|--------------------|--|------------|
| クリーニングモード | イメージセンサーをクリーニングする。 | ヘルプ ガイド |
| タッチ操作 | モニターのタッチ操作を有効にするかどうかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| 縦持ち時のタッチパッド | 縦位置でのファインダー撮影時に、タッチパッド操作を有効にするかどうかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| タッチパッド操作エリア | ファインダー撮影時のタッチパッド操作で使用するエリアを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| デモモード | 動画のデモンストレーションの入/切を設定する。 | ヘルプ ガイド |
| TC/UB設定 | タイムコード (TC) とユーザービット (UB) の設定をする。 * 映像クリエイター向けの機能です。 | ヘルプ ガイド |
| リモコン | 赤外線リモコンを使用する/しないを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| HDMI設定 | HDMIに関する設定を行う。 | ヘルプ ガイド |
| 4K映像の出力先 | 本機を4K対応の外部録画再生機器などと接続するときに、どのように記録、HDMI出力するかを設定する。 | ヘルプ ガイド |
| USB接続 | 接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。 | ヘルプ ガイド |
| USB LUN設定 | USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。 | ヘルプ ガイド |
| USB給電 | 本機とパソコン、またはUSB機器をマイクロUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定する。ただし、付属のACアダプターを使用する場合は、設定にかかわらず給電される。 | ヘルプ ガイド |
| PCリモート設定 | PCリモート撮影の設定をする。 | 81 |
| 日時設定 | 時計、日付の設定をする。 | 30 |

| | | |
|-----------|--|--------|
| エリア設定 | 本機を使用する場所に適した時刻に設定する。 | ヘルプガイド |
| 著作権情報 | 撮影する静止画の著作権情報を設定する。 | ヘルプガイド |
| フォーマット | メモリーカードをフォーマット(初期化)する。 | ヘルプガイド |
| ファイル番号 | ファイル番号の付けかたを設定する。 | ヘルプガイド |
| ファイル名設定 | 撮影する静止画のファイル名の先頭3文字を変更する。 | ヘルプガイド |
| 記録フォルダー選択 | 静止画と動画(MP4)を記録するフォルダーを設定する。 | ヘルプガイド |
| フォルダー新規作成 | 静止画と動画(MP4)を記録する新しいフォルダーを作成する。 | ヘルプガイド |
| フォルダー形式 | 静止画を記録するフォルダーの形式を設定する。 | ヘルプガイド |
| 管理ファイル修復 | 画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。 | ヘルプガイド |
| メディア残量表示 | 現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。 | ヘルプガイド |
| バージョン表示 | 本機のソフトウェアのバージョンを表示する。 | ヘルプガイド |
| 認証マーク表示 | 本機が対応している認証情報を表示する(表示されるのは認証情報の一部のみになります)。 | ヘルプガイド |
| 設定リセット | 設定をお買い上げ時の設定に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[初期化]を選ぶ。 | ヘルプガイド |

モニターに表示されるアイコン一覧

表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

モニター撮影用



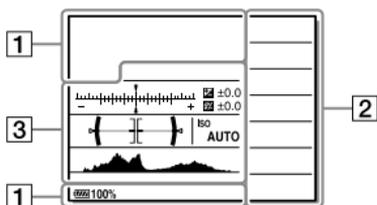
再生時

基本情報画面

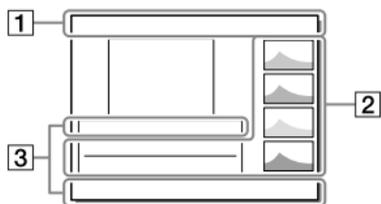


ファインダー撮影用

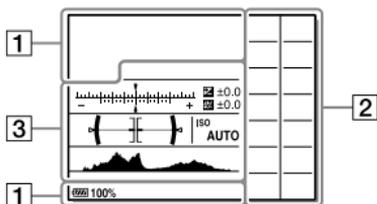
オートモード/シーンセレクション時



ヒストグラム画面



P/A/S/M/スイングパンorama時



1

| 表示 | 意味 |
|-----|--------------------------------|
| | 撮影モード (50) |
| | 登録番号 (76) |
| | シーン認識マーク |
| | シーンセレクション (50) |
| | メモリーカード (26、108) / アップロード (93) |
| 100 | 撮影可能枚数 (109) |
| | 静止画の画像横縦比 (83) |
| | 静止画の画像サイズ (48) |
| | 静止画の画質 (48) |

| 表示 | 意味 |
|-------------------------|-----------------------|
| 120p 60p 60i 30p 24p | 動画のフレームレート |
| | 動画の記録設定 (69) |
| | Bluetooth接続中/未接続 (91) |
| | バッテリー容量 (28) |
| | バッテリー残量警告 |
| | USB給電中 |
| | フラッシュ充電表示 (65) |
| | AF補助光 (84) |
| | 設定効果反映Off (90) |
| | NFC有効 |
| | 飛行機モード (91) |
| | 動画音声記録オフ (88) |
| | 風音低減オン (89) |
| | 手ブレ補正オフ/オン、手ブレ警告 (63) |
| | 手ブレ補正焦点距離/手ブレ警告 (89) |
| | 位置情報取得中/位置情報取得無効 (91) |
| | 温度上昇警告 (93) |

| 表示 | 意味 |
|--|---|
| | 管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告 |
| | スマートズーム/ 全画素超解像ズーム/ デジタルズーム (60) |
| | ビューモード (92) |
| | |
| 100-0003 | フォルダー番号— ファイル番号 (95) |
| | プロテクト (92) |
| XAVC S 4K XAVC S HD AVCHD MP4 | 動画の記録方式 (70) |
| DPOF | DPOF (プリント) 指 定 (92) |
| | 同時ビデオ記録 (88) |
| -PC- | PCリモート (94) |
| | サイレント撮影 (89) |
| | ブライツモニタリング |
| | 著作権情報書き込み オン (95) |

| 表示 | 意味 |
|---|------------------------------------|
| | ガンマ表示アシスト (93) |
| | オートフレーミング 画像 (88) |
| 120fps 60fps 30fps 15fps 8fps 4fps 2fps 1fps | スロー / クイックモー ション撮影時のフ レームレート |
| | データ書き込み中/書 き込み残り枚数 (72) |
| | フォーカス解除 (45) |
| | ロックオンAF解除 (46) |
| スポットフォーカス | スポットフォーカス (46) |

2

| 表示 | 意味 |
|----|---------------------------------|
| | ドライブモード (41) |
| | フラッシュモード (66) / 赤目軽減 (86) |
| | 調光補正 (86) |

| 表示 | 意味 |
|---|-------------------------------|
| REC 1:00:12 | 動画の撮影実時間(時:分:秒) |
|  Av | コントロールホイールの機能(20) |
|  TV | コントロールダイヤルの機能 |
| ● (M) (C) | フォーカス(36) |
| 1/250 | シャッタースピード |
| F3.5 | 絞り値 |
| ISO400 ISO AUTO | ISO感度(58) |
|  | 露出設定ガイド(90) |
|  | AEロック/FEロック |
|  | シャッタースピードインジケータ |
|  | 絞りインジケータ |
|  | ヒストグラム(24) |
|  | 位置情報 |
| 90°44'55" N 233°44'55" W | 緯度・経度情報 |
|  | 水準器(23) |
|  | 音声レベル(89) |
|  | DRO/オートHDR/ オートHDR画像警告(86) |
|  | ピクチャーエフェクト エラー |
| 2016 - 1 - 1 10:37AM | 撮影日時(30) |

| 表示 | 意味 |
|---|------------------------|
| 3/7 | 画像番号/ビューモード内画像枚数 |
|  REC  STBY | レックコントロール(94) |
| ○ | スポット測光サークル(85) |
| 00:00:00:00 | タイムコード(時:分:秒:フレーム)(94) |
| 00 00 00 00 | ユーザービット(94) |

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れに従ってください。

① 102～105ページの項目をチェックし、本機を点検する。

② バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

③ ヘルプガイド(3ページ)を確認する。

④ 設定リセットをする(95ページ)。

⑤ **α**専用サポートサイトで確認する。

http://www.sony.jp/support/r/ichigan/repair_service/



⑥ 相談窓口で電話で問い合わせる。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、ロックレバーがロックするまで挿入してください(26ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(26ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- ソニー製純正のNP-FW50タイプのバッテリーかご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が一定時間続くと、省電力設定(パワーセーブ)になります。シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。

電池の消耗が早い。

- [リモコン]が[入]になっているときは、パワーセーブ機能が働きません。リモコン使用後は[切]にしてください(94ページ)。

本体が高温になる。

- 連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。その際、カメラ表面が高温になったり、画質への影響やカメラ内部に対する負荷が生じたりするため、自動的に電源が切れる仕様となっています。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際のズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じることがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の充電ランプが点滅する。

- NP-FW50タイプのバッテリーかご確認ください。
- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。
- 1年以上使用していないバッテリーは劣化の可能性があります。
- 充電に適した温度範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行うことをおすすめします。

充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行ってください。

電源を入れてもモニターがつかない。

- [FINDER/MONITOR]が[ファインダー (マニュアル)]になっています。[FINDER/MONITOR]を[オート]にしてください(90ページ)。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードの空き容量を確認してください(109、110ページ)。いっぱいときは、下記のいずれかを行ってください。
 - 不要な画像を削除してください(75ページ)。
 - メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影に使用できるメモリーカードは、108ページをご覧ください。
- [デモモード]を[切]にしてください(94ページ)。
- [メモリーカードなしリリース]を[許可]にしてください(89ページ)。ただし、本機にメモリーカードを入れていない状態では、画像は記録されません。
- セルフタイマーになっています。

同じ画像が数枚撮影される。

- ドライブモードが連続撮影、またはブラケット撮影になっています。[1枚撮影]にしてください(41ページ)。
- 撮影モードが[プレミアムおまかせオート]になっていて、[プレミアムオート画像抽出]が[切]になっています(84ページ)。

シャッターが連続して切れてしまう。

- 以下の設定の場合は、自動的に複数枚の連写を行い重ね合わせ処理をすることがあります。
 - [ISO感度]が[マルチショットNR]
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - 撮影モードが[プレミアムおまかせオート]
 - 撮影モードが[シーンセレクション]の[手持ち夜景]または[人物ブレ軽減]
 - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎます。レンズの最短撮影距離を確認してください。

画像が白っぽくなる(フレア)。

光のにじみが現れる(ゴースト)。

- 強い光源にカメラを向けるとレンズに余分な光が入ることで画像が白っぽくなったり(フレア)、光のにじみが現れたり(ゴースト)することがありますが故障ではありません。

ズームレンズ使用時は、レンズフードを取り付けてください。また強い光源に向けないように構図を工夫して撮影してください。

画像の隅が暗くなる。

- フィルターやフードをご使用の場合は、いったん取りはずしてお試しください。フィルターの厚みやフードの不適切な取り付けにより、画像にフィルターやフードが写り込むことがあります。また、レンズの光学的な特性により、画像周辺部が暗く写る場合(光量低下)があります。この場合は[周辺光量補正]機能を使用することをおすすめします。

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダー / ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するにはPlayMemories Homeをご使用ください。

保証書とアフターサービス

■必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

■保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

■アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“困ったときは”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しています。ただし、故障の状況、その他の事情により、修理に代えて製品を交換する場合がありますので、ご了承ください。

主な仕様

バッテリーの使用時間と撮影可能枚数

| | | 使用時間 | 枚数 |
|--------|------------|-------|-------|
| 静止画撮影 | モニターモード時 | — | 約350枚 |
| | ファインダーモード時 | — | 約310枚 |
| 実動画撮影 | モニターモード時 | 約70分 | — |
| | ファインダーモード時 | 約65分 | — |
| 連続動画撮影 | モニターモード時 | 約105分 | — |
| | ファインダーモード時 | 約105分 | — |

- 使用時間や撮影枚数は満充電された状態での目安です。使用方法によって時間や枚数は減少する場合があります。
- 使用時間や撮影可能枚数は以下の条件で撮影した場合です。
 - 温度が25℃
 - E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSSレンズ(別売)使用時
 - SDXCメモリーカードUHSスピードクラス3 (U3) (別売)使用時
 - [ファインダー明るさ]: [マニュアル][±0]
 - [モニター明るさ]: [マニュアル][±0]
 - [表示画質]: [標準]
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。(CIPA: カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
 - DISP: [全情報表示]
 - [フォーカスモード]: [AF制御自動切り換え]
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 2回に一度、フラッシュを発光する。
 - 10回に一度、電源を入/切る。
- 動画撮影時の数値はCIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - 動画画質: XAVC S HD 60p 50M
 - 実動画撮影: 撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返す。
 - 連続動画撮影: 連続撮影の制限(29分)により撮影が終了したときは、再度MOVIE (動画) ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどのその他の操作はしない。

使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。
静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

メモリースティック マイクロ、microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

| 対応メモリーカード | 静止画 | 動画 | | |
|-------------------------|-----|----------------|----------------|--------|
| | | MP4 | AVCHD | XAVC S |
| メモリースティック PRO デュオ | ○ | ○ (Mark2のみ) | ○ (Mark2のみ) | — |
| メモリースティック PRO-HG デュオ | ○ | ○ | ○ | ○*1 |
| メモリースティック マイクロ(M2) | ○ | ○ (Mark2のみ) | ○ (Mark2のみ) | — |
| SDメモリーカード | ○ | ○*2 | ○*2 | — |
| SDHCメモリーカード | ○ | ○*2 | ○*2 | ○*3 |
| SDXCメモリーカード | ○ | ○*2 | ○*2 | ○*3 |
| microSDメモリー カード | ○ | ○*2 | ○*2 | — |
| microSDHCメモリー カード | ○ | ○*2 | ○*2 | ○*3 |
| microSDXCメモリー カード | ○ | ○*2 | ○*2 | ○*3 |

*1 100 Mbps以上で記録することはできません。

*2 SDスピードクラス4 (CLASS④)以上、またはUHSスピードクラス1 (U1)以上

*3 SDスピードクラス10 (CLASS⑩)、またはUHSスピードクラス1 (U1)以上
100 Mbps以上で記録する場合は、UHSスピードクラス3 (U3)が必要です。

ご注意

- SDHCメモリーカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。PlayMemories Homeでパソコンに取り込むことで、1つのファイルとして扱うことができます。

静止画の記録可能枚数

メモリーカードを入れてON/OFF（電源）スイッチを「ON」にすると、画面に、撮影可能枚数（現在の設定で撮影を続けると、あと何枚撮影できるか）が表示されます。

ご注意

- 撮影可能枚数が「0」でオレンジ色に点滅したときは、メモリーカードの容量がいっぱいです。メモリーカードを交換するか、メモリーカード内の画像を削除してください。
- 「NO CARD」がオレンジ色で点滅したときは、メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。

1枚のメモリーカードで撮影できる枚数

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。当社試験基準メモリーカード使用時の枚数です。撮影状況および使用するメモリーカードによって記録可能枚数は異なります。

[画像サイズ] : [L : 24M]

[横縦比] が [3 : 2] のとき*

(単位 : 枚)

| 画質 | 8GB | 16GB | 32GB | 64GB |
|-----------|------|------|------|-------|
| スタンダード | 1300 | 2700 | 5400 | 10500 |
| ファイン | 820 | 1650 | 3300 | 6600 |
| エクストラファイン | 405 | 810 | 1600 | 3250 |
| RAW+JPEG | 215 | 435 | 880 | 1750 |
| RAW | 295 | 600 | 1200 | 2400 |

* [横縦比] を [3 : 2] 以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できません (RAW設定時は除く)。

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときでも、「9999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。
- 記載の枚数は、当社製メモリーカード使用時の枚数です。

動画の記録可能時間

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。記録時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

[**記録方式**]が[XAVC S 4K]、[XAVC S HD]、[AVCHD]の数値は、[同時ビデオ記録]を[切]にして使用したときの数値です。

| 記録方式 | 記録設定 | 8GB | 16GB | 32GB | 64GB |
|-----------|--|--------|--------|---------|--------|
| XAVC S 4K | 30p 100M | 9分 | 15分 | 35分 | 1時間15分 |
| | 30p 60M | 15分 | 30分 | 1時間 | 2時間5分 |
| | 24p 100M <small>Super 35mm</small> | 9分 | 15分 | 35分 | 1時間15分 |
| | 24p 60M <small>Super 35mm</small> | 15分 | 30分 | 1時間 | 2時間5分 |
| XAVC S HD | 120p 100M | 9分 | 15分 | 35分 | 1時間15分 |
| | 120p 60M | 15分 | 30分 | 1時間 | 2時間5分 |
| | 60p 50M <small>Super 35mm</small> | 15分 | 35分 | 1時間15分 | 2時間35分 |
| | 30p 50M <small>Super 35mm</small> | 15分 | 35分 | 1時間15分 | 2時間35分 |
| | 24p 50M <small>Super 35mm</small> | 15分 | 35分 | 1時間15分 | 2時間35分 |
| AVCHD | 60i 24M (FX) <small>Super 35mm</small> | 40分 | 1時間25分 | 3時間 | 6時間 |
| | 60i 17M (FH) <small>Super 35mm</small> | 55分 | 2時間 | 4時間5分 | 8時間15分 |
| | 60p 28M (PS) <small>Super 35mm</small> | 35分 | 1時間15分 | 2時間30分 | 5時間5分 |
| | 24p 24M (FX) <small>Super 35mm</small> | 40分 | 1時間25分 | 3時間 | 6時間 |
| | 24p 17M (FH) <small>Super 35mm</small> | 55分 | 2時間 | 4時間5分 | 8時間15分 |
| MP4 | 1080/60p 28M <small>Super 35mm</small> | 35分 | 1時間15分 | 2時間35分 | 5時間20分 |
| | 1080/30p 16M <small>Super 35mm</small> | 1時間 | 2時間 | 4時間10分 | 8時間25分 |
| | 720/30p 6M <small>Super 35mm</small> | 2時間35分 | 5時間20分 | 10時間55分 | 22時間 |

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です(商品仕様による制限)。ただし、以下の場合は連続撮影可能時間が異なります。
 - 記録方式の設定をMP4 (28M)にした場合：約20分(ファイルサイズ4GBによる制限)
 - スローモーション/クイックモーション撮影時：記録ファイルが約29分(再生時の長さが約29分)になると撮影は自動で終了します。
 ([S&Q 記録設定]が[60p]、[S&Q フレームレート]が[30fps]の場合は、記録ファイルが約15分になると撮影は自動で終了します。)
- スローモーション/クイックモーション撮影時の時間は、再生時の時間です。撮影時に記録できる時間ではありません。

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR (Variable Bit-Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。
- 記載の時間は、当社製メモリーカード使用時の時間です。

動画の連続撮影についてのご注意

- 高精細な動画撮影や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。その際、カメラ表面が高温になったり、画質への影響やカメラ内部に対する負荷が生じたりするため、自動的に電源が切れる仕様となっています。
- しばらく電源を切った状態から出荷時設定で撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です(記録開始から停止するまでの時間です)。

| 環境温度 | 連続動画撮影時間(HD) | 連続動画撮影時間(4K) |
|------|--------------|--------------|
| 20°C | 約29分 | 約20分 |
| 30°C | 約29分 | 約20分 |
| 40°C | 約29分 | 約20分 |

[自動電源OFF温度]：[標準]

HD：XAVC S HD (60p 50M、Wi-Fi非接続)

4K：XAVC S 4K (24p 60M、Wi-Fi非接続)

- 連続動画撮影時間は温度環境や動画の記録方式・記録設定、Wi-Fiの接続環境、動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、連続動画撮影時間は短くなります。
- [I]が表示された場合は、本機の温度が上がっています。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
 - できるだけ直射日光を避ける
 - 使用しないときはこまめに電源を切る
- [H]記録方式]が[AVCHD]の場合は、1つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、自動的に新しいファイルが作成されます。
- [H]記録方式]が[MP4]の場合は、1つの動画ファイルは約4GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約4GBになると、自動的に記録が止まります。

主な仕様

本体

[形式]

カメラタイプ
レンズ交換式デジタルカメラ
使用レンズ
ソニー Eマウントレンズ

[撮像部]

イメージセンサー
APS-Cサイズ(23.5 mm × 15.6 mm)、
CMOSイメージセンサー
カメラ有効画素数
約24 200 000画素
総画素数
約25 000 000画素

[手ブレ補正]

形式
イメージセンサーシフト方式(内蔵)

[アンチダスト]

システム
帯電防止コートとイメージセンサーシフト駆動の併用

[オートフォーカス]

形式
位相差検出方式/コントラスト検出方式
検出輝度範囲
EV-1 ~ EV20 (ISO 100相当、F2.0レンズ使用)

[露出制御]

測光方式
イメージセンサーによる1 200分割測光

測光範囲

EV-2 ~ EV20 (ISO 100相当、F2.0レンズ使用)

ISO感度(推奨露光指数)

静止画撮影時: AUTO、ISO100 ~ ISO25 600 (拡張: 上限ISO51 200)
動画撮影時: AUTO、ISO100 ~ ISO25 600相当

露出補正

±5.0EV (1/3、1/2EVステップ切り換え可能)

[シャッター]

形式

電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター

シャッタースピード範囲

静止画撮影時: 1/4 000秒 ~ 30秒、バルブ
動画撮影時: 1/4 000秒 ~ 1/4秒(1/3段ステップ)、AUTO時は1/60秒まで(オートスローシャッター時は1/30秒まで)

フラッシュ同調速度

1/160秒

[記録メディア]

メモリースティック PRO デュオ、SDカード

[モニター]

液晶モニター

7.5 cm (3.0型)ワイド TFT駆動、タッチパネル

ドット数

921 600ドット

[ファインダー]

形式

電子式ビューファインダー

総ドット数

2 359 296ドット

視野率

100%

倍率

約1.07倍 (35mm判換算：約0.70倍、
50 mmレンズ、無限遠、視度 -1 m^{-1} 時)

アイポイント (CIPA準拠)

最終光学面から約23 mm、接眼枠から
約21.4 mm (視度 -1 m^{-1} 時)

視度調整

$-4.0\text{ m}^{-1} \sim +3.0\text{ m}^{-1}$

[入/出力端子]

マルチ/マイクロUSB端子*

USB通信 Hi-Speed USB (USB2.0)

* この端子にはマイクロUSB規格に
対応した機器をつなぐことができます。

HDMI端子

HDMIタイプDマイクロ端子

● (マイク)端子

Ø 3.5 mmステレオミニジャック

[電源]

バッテリー

リチャージャブルバッテリーパック
NP-FW50

消費電力 (撮影時)

E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSS使用時
ファインダー使用時：約2.8 W
モニター使用時：約2.5 W

[その他]

Exif Print

対応

PRINT Image Matching III

対応

DPOF

対応

外形寸法 (CIPA準拠) (約)

120.0 mm × 66.9 mm × 53.3 mm
(幅 × 高さ × 奥行き)

本体質量 (CIPA準拠) (約)

453 g (バッテリー、SDカードを含む)
410 g (本体のみ)

動作温度

0°C ~ 40°C

保存温度

$-20^{\circ}\text{C} \sim +60^{\circ}\text{C}$

[記録方式]

静止画記録方式

JPEG (DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.31、
MPF Baseline)準拠、RAW (ソニー
ARW 2.3フォーマット)

動画記録方式 (XAVC S方式)

MPEG-4 AVC/H.264 XAVC S ver.1.0規
格準拠

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：LPCM 2ch (48kHz 16bit)

動画記録方式 (AVCHD方式)

AVCHD規格 Ver.2.0準拠

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：Dolby Digital 2ch

ドルビーデジタルステレオクリエー
ター搭載

- ドルビーラボラトリーズからの実施
権に基づき製造されています。

動画記録方式(MP4方式)

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch

USB通信

Hi-Speed USB (USB 2.0)

[フラッシュ]

ガイドナンバー

6 (ISO100・m)

充電時間

約4秒

照射角

16mmレンズをカバー（レンズ表記の
焦点距離）

調光補正

±3.0EV (1/3、1/2EVステップ切り換
え可能)

[ワイヤレスLAN]

対応規格

IEEE 802.11b/g/n

使用周波数帯

2.4 GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

接続方式

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) /マ
ニュアル

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

[NFC]

タグタイプ

NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

[Bluetooth通信]

Bluetooth®標準規格Ver. 4.1

使用周波数帯

2.4 GHz帯

Model No. WW213019

ACアダプター AC-UUD12

定格入力

AC 100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz、
0.2 A

定格出力

DC 5 V、1.5 A

リチャージャブルバッテ リーパックNP-FW50

公称電圧

DC 7.2V

本機や付属品の仕様および外観は、改良
のため予告なく変更することがありま
すが、ご了承ください。

焦点距離について

本機での撮影画角は、35mm判カメラの画角よりも狭くなります。お手持ちのレンズの焦点距離を約1.5倍すれば、35mm判カメラとほぼ同じ画角で撮影できる焦点距離に相当する値を求めることができます。

(例：焦点距離50mmのレンズを付けると、35mm判カメラで約75mmに相当する画像が得られます。)

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格 “Design rule for Camera File system” (DCF) に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

商標について

- メモリースティックおよび  はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- XAVC Sおよび  はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、シスコの登録商標または商標です。
- iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Eye-Fiは、Eye-Fi, Incの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

- Facebook、“f”ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。



■ GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
<http://oss.sony.net/Products/Linux/>
 なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、[PMHOME] - [LICENSE]内にあるファイルをご一読ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない



禁止

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。



禁止

カメラのファインダーや取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない

視力障害や失明の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。



禁止

ワイヤレス機能ご使用上のご注意

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。



禁止

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

直射日光の当たる場所に放置しない

太陽光が近くのものに結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。



禁止

危険 電池についての
安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや
やけど、火災などを避けるため、下記の注意事項
をよくお読みください。

危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアークリップなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。



禁止

注意

- 電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。



指示



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.com/> を参照してください。

ア行

| | |
|--------------|--------|
| アイコン一覧 | 96 |
| アイスタートAF | 85 |
| 赤目軽減発光 | 86 |
| アップロード設定 | 93 |
| アプリ一覧 | 92 |
| 位置情報連動設定 | 79 |
| 一覧表示 | 74 |
| 色温度・カラーフィルター | 61 |
| 色空間 | 83 |
| 印刷 | 92 |
| インデックス | 74 |
| エクストラファイン | 49 |
| エリア設定 | 95 |
| オートスローシャッター | 88 |
| オートフォーカス | 37 |
| オートフレーミング | 88 |
| オートモード | 32, 51 |
| オートレビュー | 90 |
| おまかせオート | 32, 51 |
| 主な仕様 | 113 |
| 音声記録 | 88 |
| 音声レベル表示 | 89 |
| 音量設定 | 73, 93 |

カ行

| | |
|---------------|----|
| 回転 | 92 |
| 顔検出/スマイルシャッター | 87 |
| 拡大 | 92 |
| 拡張フレキシブルスポット | 37 |
| 画質 | 48 |
| カスタムキー（再生） | 77 |
| カスタムキー（撮影） | 77 |

| | |
|-----------------|--------|
| カスタムセット | 61 |
| 画像サイズ | 48 |
| カメラ内ガイド | 3 |
| 画面表示 | 23, 96 |
| 感度 | 58 |
| ガンマ表示アシスト | 93 |
| 管理ファイル修復 | 95 |
| 機器名称変更 | 91 |
| 強制発光 | 66 |
| 記録画像の回転表示 | 92 |
| 記録可能時間 | 110 |
| 記録可能枚数 | 109 |
| 記録設定 | 88 |
| 記録フォルダー選択 | 95 |
| 記録方式 | 70 |
| クリーニングモード | 94 |
| クリエイティブスタイル | 87 |
| グリッドライン | 90 |
| 蛍光灯：昼光色 | 61 |
| 蛍光灯：昼白色 | 61 |
| 蛍光灯：白色 | 61 |
| 言語 | 8 |
| 高感度NR | 83 |
| 個人顔登録 | 88 |
| コンテンツユアスAF | 35 |
| コンテンツユアスAFエリア表示 | 85 |
| コントロールホイール | 20 |

サ行

| | |
|--------|--------|
| サービス紹介 | 92 |
| 再生 | 72, 92 |
| 削除 | 75 |
| 削除確認画面 | 93 |

| | | | |
|----------------------|-----|----------------------|-----|
| 撮影可能時間..... | 110 | 夕行 | |
| 撮影可能枚数..... | 109 | 対応メモリーカード..... | 108 |
| 撮影設定1..... | 83 | ダイヤル/ホイールの設定..... | 90 |
| 撮影設定2..... | 88 | ダイヤル/ホイール露出補正..... | 90 |
| シーンセレクション..... | 50 | ダイヤル/ホイールロック..... | 91 |
| 自動電源OFF温度..... | 93 | 太陽光..... | 61 |
| 自動発光..... | 66 | タイルメニュー..... | 93 |
| 視度調整..... | 17 | ダイレクトマニュアルフォーカス..... | 35 |
| 絞り優先..... | 53 | タッチ操作..... | 45 |
| シャッタースピード優先..... | 53 | タッチ패드操作エリア..... | 94 |
| シャッター半押しAEL..... | 86 | タッチフォーカス..... | 45 |
| シャッター半押しAF..... | 85 | 縦記録画像再生..... | 92 |
| 初期値..... | 95 | 縦持ち時のタッチ패드..... | 94 |
| シングルAF..... | 35 | 縦横比..... | 83 |
| 水中オート..... | 61 | 中央..... | 37 |
| スイングパノラマ..... | 50 | 中央ボタン押しロックオンAF..... | 84 |
| ズーム..... | 60 | 長秒時NR..... | 83 |
| ズーム設定..... | 60 | 著作権情報..... | 95 |
| ズーム倍率..... | 60 | ディスク作成..... | 71 |
| ズームリング操作方向..... | 89 | 手ブレ補正..... | 63 |
| スポット測光位置..... | 86 | 手ブレ補正設定..... | 63 |
| スポットフォーカス..... | 46 | デモモード..... | 94 |
| スマートフォン転送..... | 91 | テレビ鑑賞 (Wi-Fi)..... | 91 |
| スマイルシャッター..... | 87 | 電球..... | 61 |
| スロー & クイック設定..... | 88 | 電子音..... | 91 |
| スロー & クイックモーション..... | 88 | 動画..... | 67 |
| 静止画撮影..... | 33 | 動画音声記録..... | 88 |
| セットアップ..... | 93 | 動画から静止画作成..... | 73 |
| ゼブラ..... | 90 | 動画記録設定..... | 88 |
| セルフタイマー..... | 43 | 動画記録方式..... | 70 |
| 操作音..... | 91 | 動画の再生..... | 72 |
| ゾーン..... | 37 | 同時ビデオ記録..... | 88 |
| 測光モード..... | 85 | 登録..... | 76 |
| ソフトウェア..... | 80 | 時計合わせ..... | 30 |
| | | ドライブモード..... | 41 |

曇天.....61

ナ行

日時設定.....30

認証マーク表示.....95

ネットワーク設定リセット.....92

ハ行

バージョン表示.....95

パソコン.....80

パソコン保存 (Wi-Fi).....91

発光禁止.....66

パノラマ.....50

パノラマ：画像サイズ.....83

パノラマ：撮影方向.....83

バルブ撮影.....55

パワーセーブ開始時間.....93

ピーキング色.....87

ピーキングレベル.....87

日陰.....61

ピクチャーエフェクト.....87

ピクチャープロファイル.....87

飛行機モード.....91

ヒストグラム.....24

日付プリント.....31

美肌効果.....87

ビューモード.....92

表示画質.....93

ピント.....35

ピント拡大時間.....87

ピント拡大中のAF.....87

ファイル番号.....95

ファイル名設定.....95

ファイン.....49

ファインダー.....23

ファインダー明るさ.....93

ファインダー色温度.....93

ファインダーフレームレート.....90

ファンクションボタン.....18, 21

ファンクションメニュー設定.....78

風音低減.....89

フォーカス.....35

フォーカスエリア.....37

フォーカスエリア自動消灯.....85

フォーカス表示.....36

フォーカスモード.....35

フォーカスロック.....34

フォーマット.....95

フォルダー形式.....95

フォルダー新規作成.....95

フラッシュ.....65

フラッシュモード.....66

プリAF.....85

プリント指定.....92

フレキシブルスポット.....37

プレミアムオート画像抽出.....84

プレミアムおまかせオート.....51

プログラムオート.....52

プログラムシフト.....52

プロテクト.....92

ヘルプガイド.....3

ボリュウム.....73, 93

ホワイトバランス.....61

ホワイトバランスブラケット.....41

マ行

マーカー設定.....89

マーカー表示.....89

マニュアルフォーカス.....35

マニュアル露出.....54

マルチインターフェースシュー.....15

| | |
|--------------------|---------|
| メディア残量表示..... | 95 |
| メニュー..... | 82 |
| メニュー一覧..... | 83 |
| メモリーカード..... | 26, 108 |
| メモリーカードなしシリーズ..... | 89 |
| モードダイヤル..... | 50 |
| モードダイヤルガイド..... | 93 |
| モニター..... | 23 |
| モニター明るさ..... | 93 |
| モニター表示..... | 96 |

ヤ行

| | |
|----------|----|
| 縦横比..... | 83 |
|----------|----|

ラ行

| | |
|----------------|--------|
| ライブビュー表示..... | 90 |
| リモコン..... | 94 |
| 連写..... | 42 |
| レンズ..... | 29 |
| レンズなしシリーズ..... | 89 |
| レンズ補正..... | 83 |
| 連続撮影..... | 42 |
| 連続ブラケット..... | 41 |
| ロー画像..... | 48, 49 |
| 録音レベル..... | 88 |
| 露出基準調整..... | 86 |
| 露出設定ガイド..... | 90 |
| 露出値ステップ幅..... | 86 |
| 露出補正..... | 57 |
| 露出補正の影響..... | 86 |
| ロックオンAF..... | 37 |

ワ行

| | |
|-----------------|--------|
| ワイド..... | 37 |
| ワイヤレス..... | 91 |
| ワンタッチ(NFC)..... | 79, 91 |

数字/アルファベット順

| | |
|---------------------------|--------|
| 1枚撮影..... | 41 |
| 1枚ブラケット..... | 41 |
| 4K映像の出力先..... | 94 |
| 4K動画..... | 70 |
| A..... | 53 |
| AF..... | 37 |
| AF-A..... | 35 |
| AF-C..... | 35 |
| AF-C時の優先設定..... | 84 |
| AF-S..... | 35 |
| AF-S時の優先設定..... | 84 |
| AF駆動速度..... | 88 |
| AFシステム..... | 85 |
| AF制御自動切り換え..... | 35 |
| AF被写体追従感度..... | 88 |
| AF微調整..... | 85 |
| AF補助光..... | 84 |
| AVCHD..... | 70, 71 |
| AWB..... | 61 |
| AWB時の優先設定..... | 86 |
| Bluetooth機能..... | 79 |
| BULB..... | 55 |
| DISP..... | 23 |
| DMF..... | 35 |
| DRO/オートHDR..... | 86 |
| DROブラケット..... | 41 |
| Eye-Fi..... | 93 |
| FINDER/MONITOR..... | 90 |
| Fn..... | 21 |
| HDMI設定..... | 94 |
| Image Data Converter..... | 81 |
| ISO AUTO..... | 58 |
| ISO感度..... | 58 |
| M..... | 54 |

| | |
|--------------------------------|---------------|
| MENU | 82 |
| MENUボタン | 18, 82 |
| MF | 35 |
| MFアシスト | 87 |
| MOVIE (動画) ボタン | 18, 67, 90 |
| MP4 | 71 |
| NFC | 7, 18, 79, 81 |
| P | 52 |
| PCリモート設定 | 94 |
| PlayMemories Camera Apps | 81 |
| PlayMemories Home | 80 |
| RAW | 48, 49 |
| RAW+JPEG | 48 |
| Remote Camera Control | 81 |
| S | 53 |
| TC/UB設定 | 94 |
| USB LUN設定 | 94 |
| USB給電 | 94 |
| USB接続 | 94 |
| WB | 61 |
| Wi-Fi | 7, 79, 81 |
| Wi-Fi設定 | 91 |
| XAVC S | 69, 70 |
| XAVC S 4K | 70 |
| XAVC S HD | 71 |

『α』専用サポートサイト

製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリ互換情報に加えて、撮影方法など写真をもっと楽しみたいときに役立つ情報を掲載しています。



<http://www.sony.jp/support/ichigan/>

ソフトウェアのサポート情報

PlayMemoriesシリーズなどのソフトウェア・アプリケーションに関する情報を掲載しています。

<http://www.sony.jp/support/r/disoft/>

『α』オフィシャルサイト

レンズ交換式デジタルカメラの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。

<http://www.sony.jp/ichigan-e/>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル …………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 … 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル …………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 … 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「402」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

